

Windows 10 の写真アプリ「フォト」を用いた写真編集

パソコン・勉強会 2016(H28).9.25(土)

2016(H28).8.12 T.Ogawa

写真の編集については、2008/11/23 に Picture Manager を使用して勉強し、2014/02/23 に GIMP^{ギンプ} を使用して勉強してきた。

前者の Picture Manager はコンデジ（コンパクト デジタルカメラ）を使用する一般ユーザに適した簡素な写真編集ソフトであった。この Picture Manager は Office 2003、2007、2010 に付属していたが、一般ユーザに見えにくい深い場所に置かれていたので利用するユーザは少なく、Office 2013 以降は姿を消してしまった。

後者の GIMP (RGB 方式) はフリーソフトでありながら、レンズ交換式カメラ（一眼レフ）を使用するプロ／ハイアマチュア御用達^{ごようたし}の Adobe Photoshop (YMCK 方式) に対比される高機能な画像編集アプリであり、一般ユーザには手に余るソフトである。

Windows 10 には新機能として「フォト」と呼ばれる写真閲覧・編集アプリが添付されている。「フォト」は Office グループの奥深く隠れていた Picture Manager とは異なり、目に見えるように独立したアプリとして標準添付されているので、多くのコンデジ～スマホの使用者が気軽に写真編集を楽しめるようになるものと期待している。

《お願い》 勉強会で使用する例題用の「サンプル画像」を格納した CD-R を持参するので、勉強に先立って各自のパソコンのデスクトップにコピーしてください。

1. 「フォト」は登録されたフォルダー内の写真を閲覧できる.....	1
2. 「フォト」の写真編集機能について.....	2
3. サンプル写真を用いた写真編集の例.....	3
3.1. 基本修正.....	3
3.2. フィルター.....	14
3.3. ライト.....	16
3.4. カラー.....	18
3.5. 効果.....	24

2016/09/08 現在の Windows フォト

Ver.16.722.10060.0

1. 「フォト」は登録されたフォルダー内の写真を閲覧できる

Windows 10 の「フォト」は、写真を読み込んで閲覧したり、写真をスライドショーにしたり、写真を簡単な手順で編集（加工）したりする標準アプリである。

この勉強会では、簡単な操作でデジカメやスマホで撮った写真をワンランク上の写真に編集する技を勉強する。


「フォト」を起動すると、「フォト」の [コレクション] 画面が表示されて、ソース（閲覧対象）に登録されているフォルダー内の写真が撮られた日付順に表示される。

なお、「ソース」へのフォルダー登録およびソースからのフォルダー削除は、次の手順で行う。




【ソースへの閲覧対象フォルダーの登録】

（設定）→ **ソース** の **+ フォルダーの追加** で、閲覧対象のフォルダーを **ソース** に追加する

【ソースにある閲覧対象フォルダーの削除】

ソース に登録されている削除対象フォルダーの右にある  → [フォルダーを削除] の順にクリックしてフォルダーを削除する



- （コレクション）：登録されているフォルダーで格納されている写真を日付順に表示する
- （アルバム）：選択した写真でアルバムを作る
- （フォルダー）：ピクチャーや独自に登録したフォルダー、One Drive にある写真を閲覧する

コピーした「…サンプル写真」フォルダーを「フォト」に追加

今回の勉強会では、CD-R からデスクトップにコピーした、フォルダー（160925 フォト編集用サンプル写真）を閲覧対象フォルダーとして「フォト」に追加登録する。

勉強会の終了後に「フォト」から「…サンプル写真」フォルダーを削除

勉強会の終了後は、「フォト」からフォルダーを削除した後、デスクトップからもフォルダーを削除すること。

2. 「フォト」の写真編集機能について

2015(H27).11.22 の「Windows 10 Part 2」の勉強会の追加資料の 30～33 ページで新画像ビューワ（フォト）の編集機能について紹介したが、ここで改めて「フォト」の機能概要を掲載する。

機能グループ	機能	機能の概略
 基本修正	 補正	色、明るさ、彩度、コントラスト、傾き等を自動補正する
	 回転	クリック毎に画像を 90° 単位で右回転させる
	 クロップ	上部ツールバーの  （縦横比）で設定した縦横比で、写真をトリミング（四角形で切り取り）する
	 傾きの調整	ダイヤルを回して、写真の傾きを調整する（調整範囲：-30°～0°～30°）
	 赤目	ストロボ（フラッシュライト）の照射で発生した赤目（目の中心部が赤くなる現象）を目立たなくする
	 修正	小さな円に変化させたポインタでクリックしながら、不要な部分（ゴミ）を覆って目立たなくして隠す
 フィルター		カメラにカラーフィルターを装着して撮影したような効果を出す ▶ オリジナル、赤を強調、青を強調、緑を強調、弱めの縁取り、モノクロのプレビュー版を表示 ▶ プレビュー版をクリックして表示させて好みのフィルターを指定する
 ライト	 明るさ	ダイヤルを回して、明るさを調整する（-100～100 の範囲）
	 コントラスト	ダイヤルを回して、コントラスト（明暗の差）を調整する（-100～100 の範囲）
	 ハイライト	ダイヤルを回して、最も明るい部分の明るさを調整する（-100～100 の範囲、白飛びに注意）
	 影	ダイヤルを回して、最も暗い部分の暗さを調整する（-100～100 の範囲、黒つぶれに注意）
 カラー	 温度	ダイヤルを回して、色温度 ^(※1) を増減してホワイトバランスを調整する（-100～100 の範囲）
	 濃淡	ダイヤルを回して、色の濃淡（強さ）を調整する（-100～100 の範囲）
	 鮮やかさ	ダイヤルを回して、色の鮮やかさ（灰色の量）を調整する（-100～100 の範囲で灰色成分を増減）
	 カラーブースト	ダイヤルを回して、指定した位置の色の濃さを調整する（-100～100 の範囲で）
 効果	 ふちどり	ダイヤルを回して、写真の四隅を白／黒でグラデーションしてふちどりする（-100～100 の範囲）
	 フォーカス範囲	ピント範囲を円／楕円で囲んで指定した後、ツールバーの  （絞り）ボタンで表示させた「最も強い」～「最も弱い」のレベルを指定して、ぼかしの強さを調整する

(※1) 色温度とは光の色を K（ケルビン）と呼ばれる絶対温度で表したものであり、色温度が低い光は赤味が強く、色温度が高い光は青味が強い。

3. サンプル写真を用いた写真編集の例

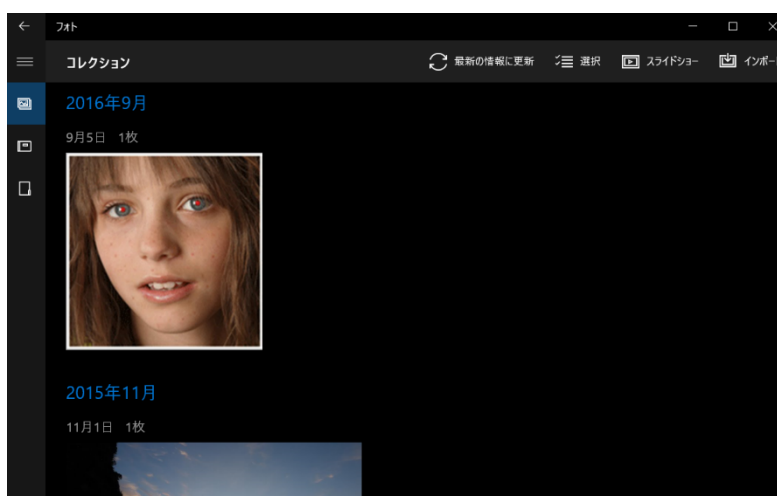
額で飾れる A4 版の写真紙に印刷するには 600 万画素のカメラで十分と言われている。今では SIM フリーの格安スマホでさえ 800 万画素以上のカメラを内蔵しているので、誰でも額で飾れる写真を写せます。


Windows 10 に添付された「フォト」を用いると、デジカメやスマホで撮った写真をわずか数クリックするだけで見違えるように美しい写真に編集できます。


A4 判の写真用紙は 50～100 円/枚で、A4 判の写真用の額縁は 1,000～1,500 円程度で入手できるので、これを機会に「フォト」が使えるようになって額に入れられる美しい写真を作りませんか。

【フォトの基本操作】


- ① 「フォト」を起動すると  (コレクション) 画面を表示する



 (コレクション) では写真を撮影日順に一覧表示する

- ② 画面左の  (フォルダー) をクリックして [フォルダー] 画面に切り替える



 (フォルダー) では「フォト」で閲覧の対象にしている写真が入っているフォルダーを表示する

3.1. 基本修正


この「基本修正」の機能だけマスターすれば、あなたの写真は数ランク上の写真になります。

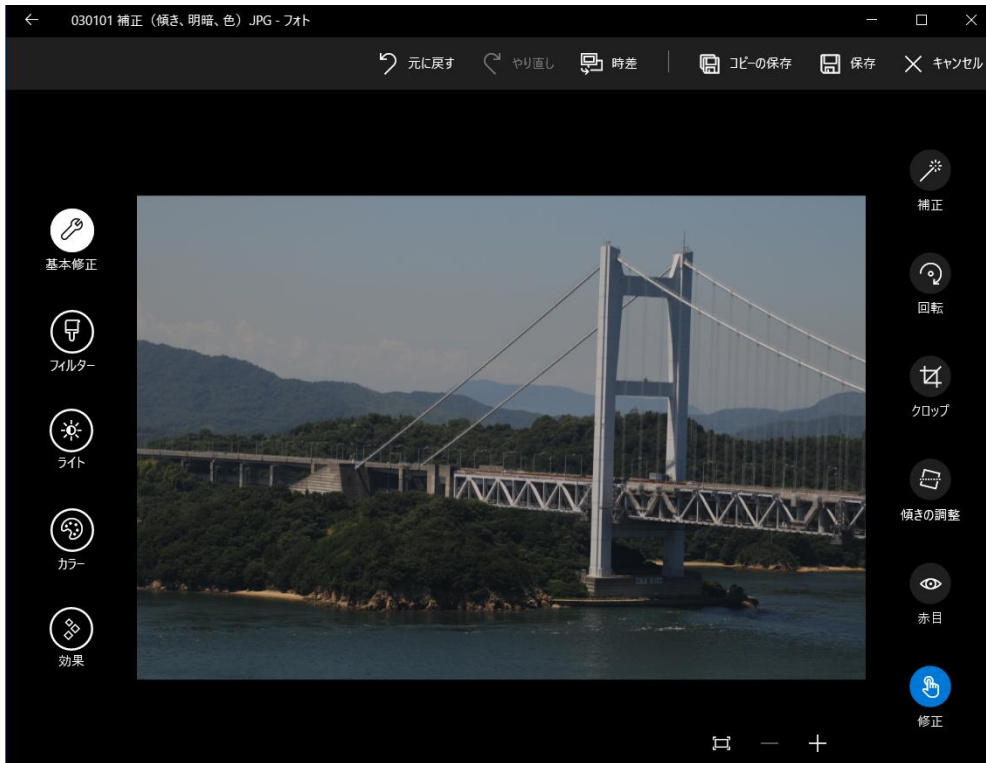
(1) 補正



ワンクリックするだけで、**①** 写真の水平線に対する傾きの調整、**②** 写真の明暗に関する調整、**③** 写真の色に関する調整を自動的に行って見違えるような写真に仕上がる。

写真修正の手始めとして、超簡単なこの機能だけは是非使えるようになって欲しい。

【サンプル写真】 310101 補正（傾き、明暗、色）


- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「310101 補正（傾き、明暗、色）.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの （編集）をクリックし [編集] 画面に切り替える

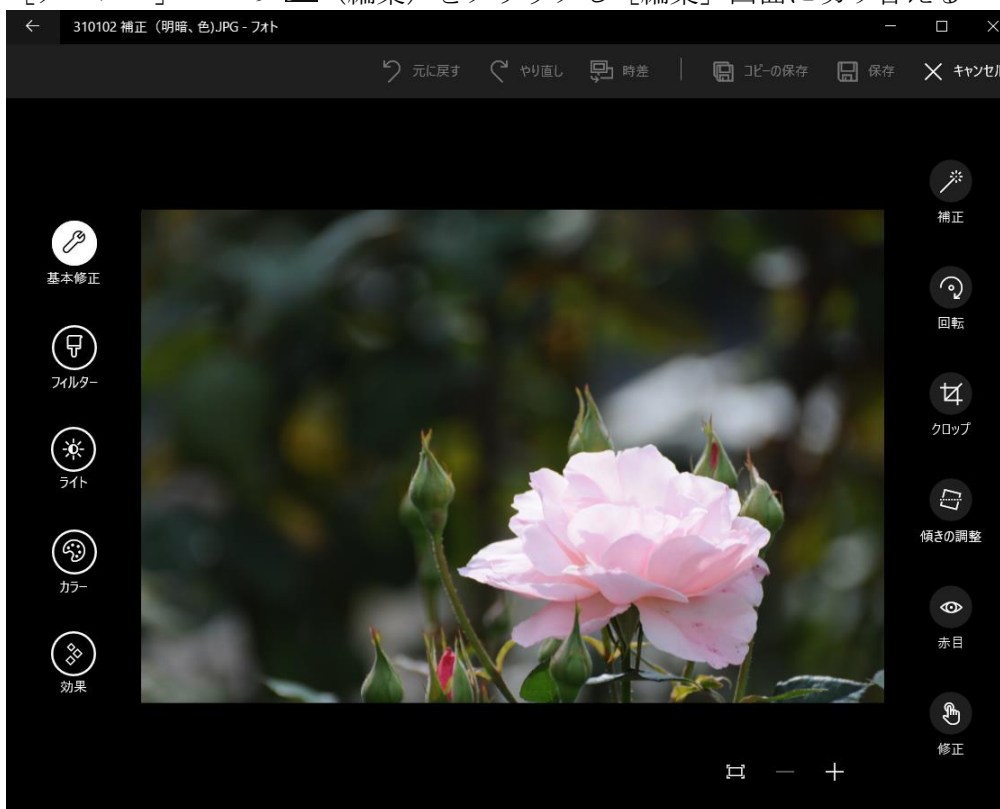




- ③ 画面左の （基本修正）→ 画面右の （補正）の順にクリックして自動的に補正する
 - ◇ 傾き（水平線）の自動修正とそれに伴う自動クロップ（トリミング）
 - ◇ ライト（明るさ、コントラスト、ハイライト、影）の自動修正
 - ◇ カラー（色温度⇄色合い、濃淡、鮮やかさ⇄灰色の強弱、カラーブースト⇄色の増加／減少）の自動修正

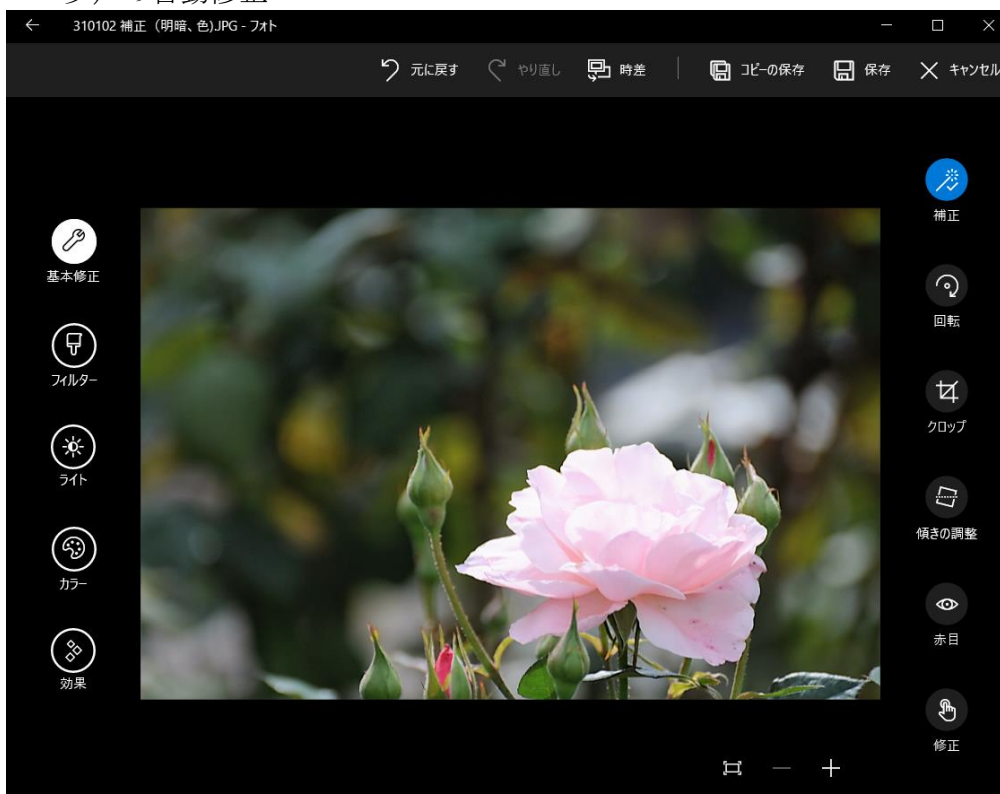


【サンプル写真】 310102 補正（明暗、色）

- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「310102 補正（明暗、色）.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの （編集）をクリックし [編集] 画面に切り替える




- ③ 画面左の （基本修正）→ 画面右の （補正）の順にクリックして自動的に補正する
 - ◇ ライト（明るさ、コントラスト、ハイライト、影）の自動修正
 - ◇ カラー（色温度≒色合い、濃淡、鮮やかさ≒灰色の強弱、カラーブースト≒色の増加／減少）の自動修正

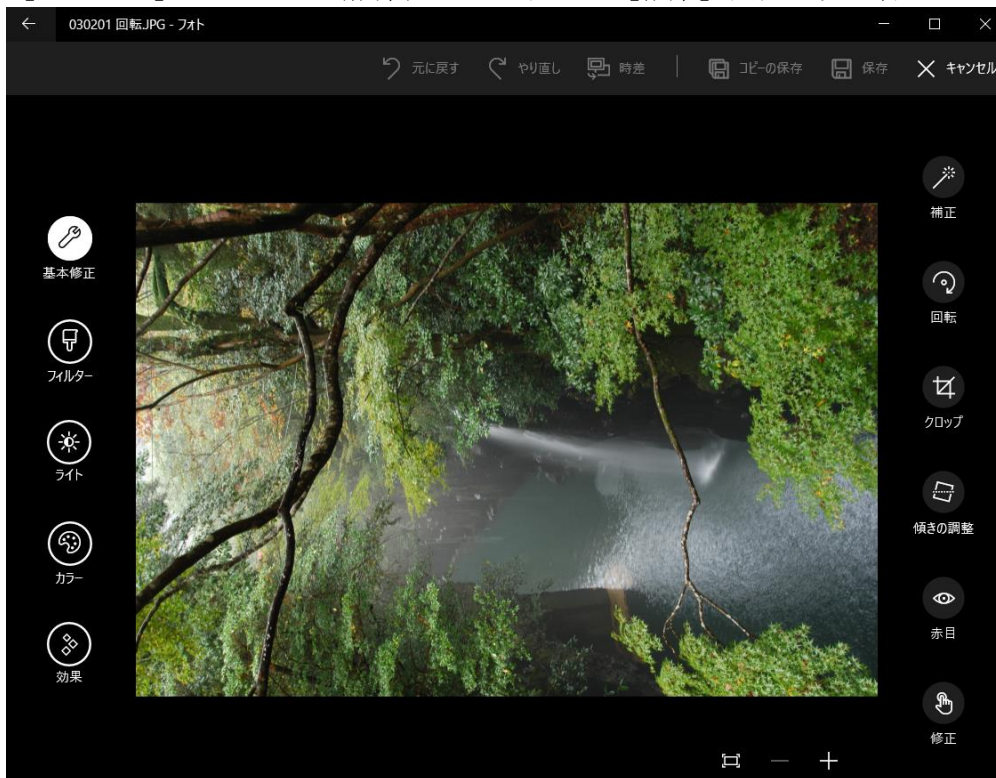




(2) 回転

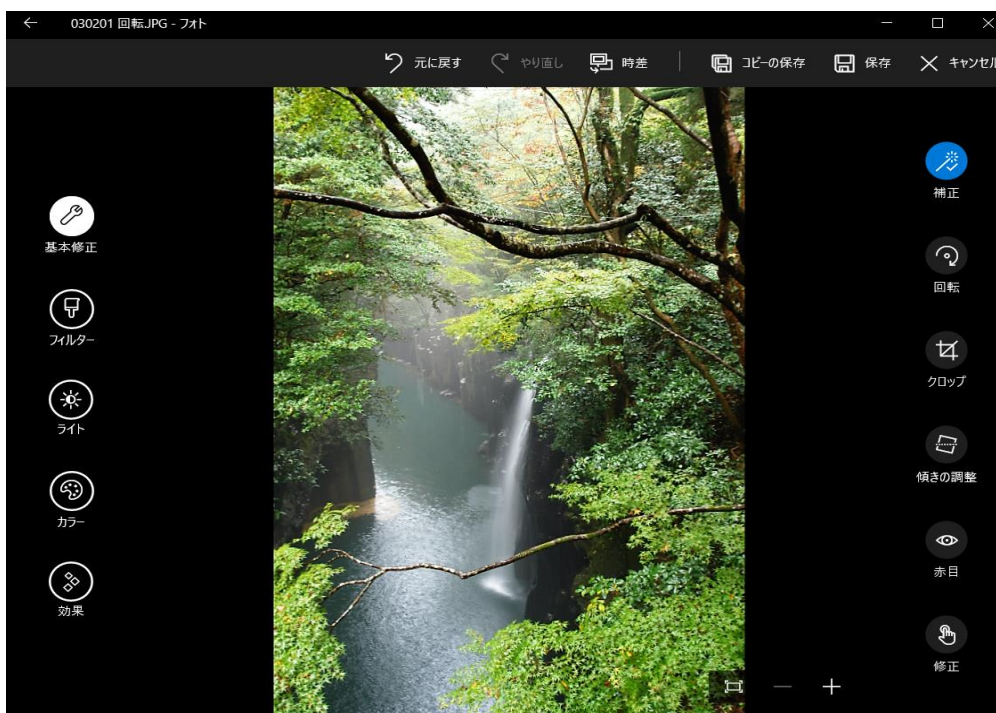
縦長の写真を撮る時はカメラを左に倒して構える。この写真を PC 画面で見ると写真が左に倒れた状態で表示される。これを右に 90° 回転させて本来の縦長で表示させる。

【サンプル写真】 310201 回転

- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「310201 回転.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える



- ③ 画面左の  (基本修正) → 画面右の  (回転) の順にクリックして 90° 右回転させて本来の縦長に表示する。



回転させた後、必要に応じて「補正」その他の修正を行うこと

(3) クロップ

[クロップ]とは切り取ることの意であり、トリミングと同意である。


絵画、写真、建築等では黄金分割おうごんぶんかつ（近似値は $1:1.618 \approx 5:8$ ）の位置に主題を置くと、バランスがとれて美しいと言われている。

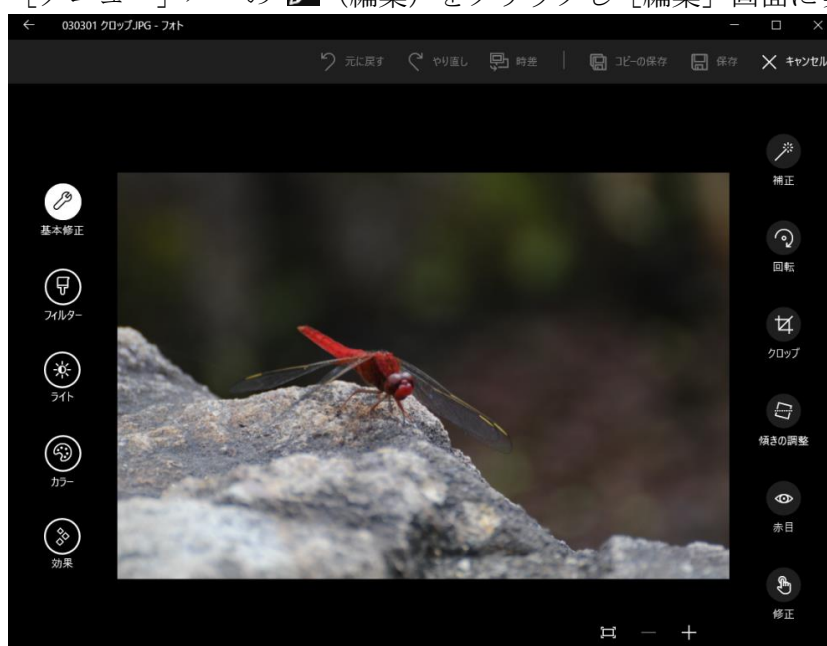
（補足）この黄金比はギリシャ時代から最も調和のとれた比と言われていて本やはがき（ $1:1.48$ ）の縦横比もこれに近い。



写真では便宜的に $1:2$ と言われていて画面の縦横 $1/3$ 当たりの位置に主題を置くのが良いとされ、撮った写真の上下左右をトリミングしてバランスが良い写真になるように編集している。

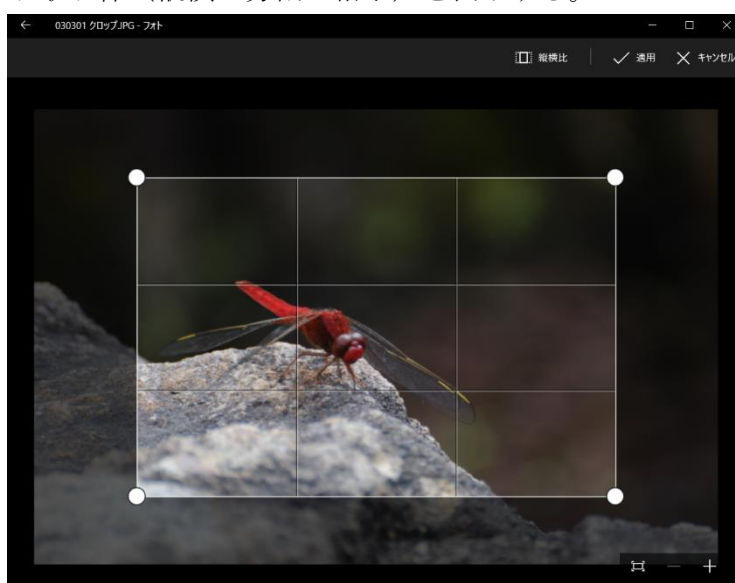
【私見】筆者もそうであったが、聞き覚えた数値を鵜呑みにして $1/3$ （ $=1:2$ ）にこだわる方もいるが、強いて言えば「**1/3の点よりやや中央寄り**」と覚えるべきと考える。



【サンプル写真】 310301 クロップ

- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「310301 クロップ.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの （編集）をクリックし [編集] 画面に切り替える

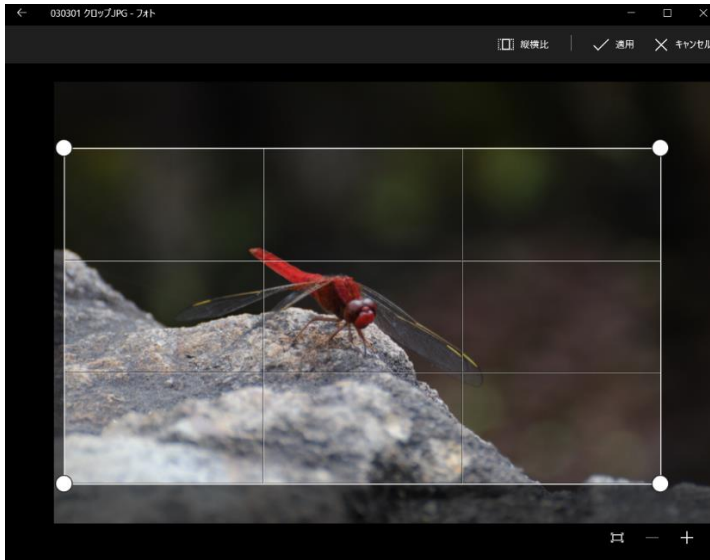


- ③ 画面左の （基本修正）→ 画面右の （クロップ）の順にクリックして写真の上に切り取り枠（縦横3分割の格子）を表示する。

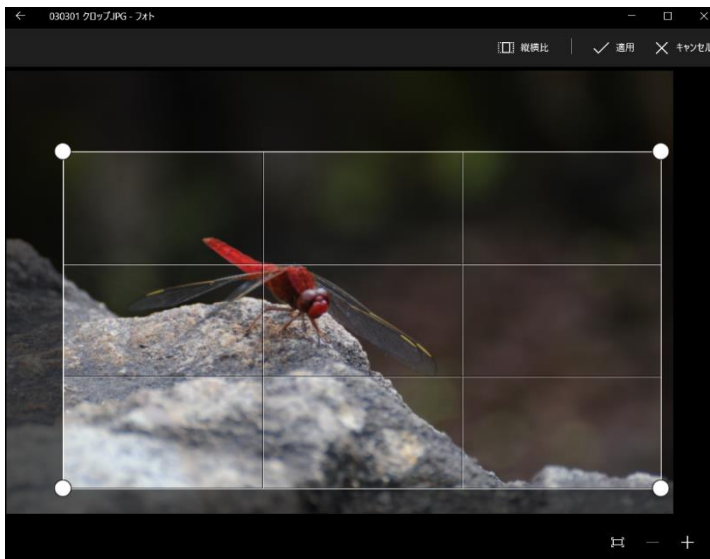


- ④ 必要に応じて、 **縦横比** →  **ロック画面** の順にクリックした後、角のハンドルをドラッグして格子のサイズを拡大/縮小して、クロップ後のサイズを指定する。

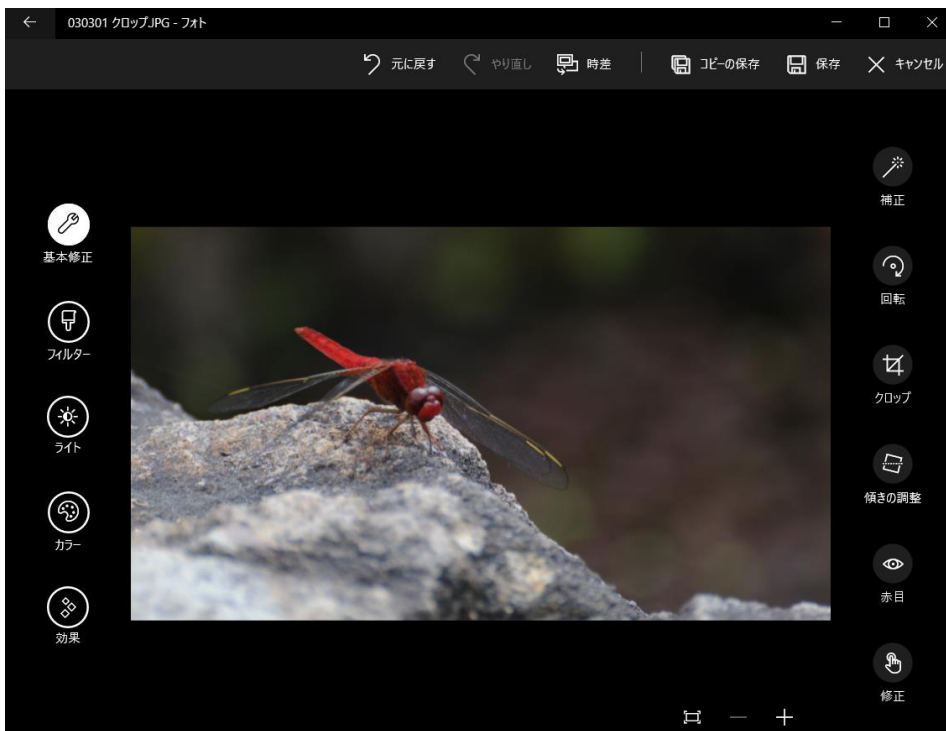
（補足）[ロック画面]を選択すると、縦横比を保ったままの相似形で拡大/縮小ができる。



- ⑤ 画像の任意の点をドラッグして主題（例：トンボの目）が切り取り枠の縦横の 1/3 からやや中央寄りの位置に来るように調整する。




- ⑥ **適用** をクリックしてクロップ(トリミング)を実行した後、必要に応じて、「補正」その他の修正を行うこと

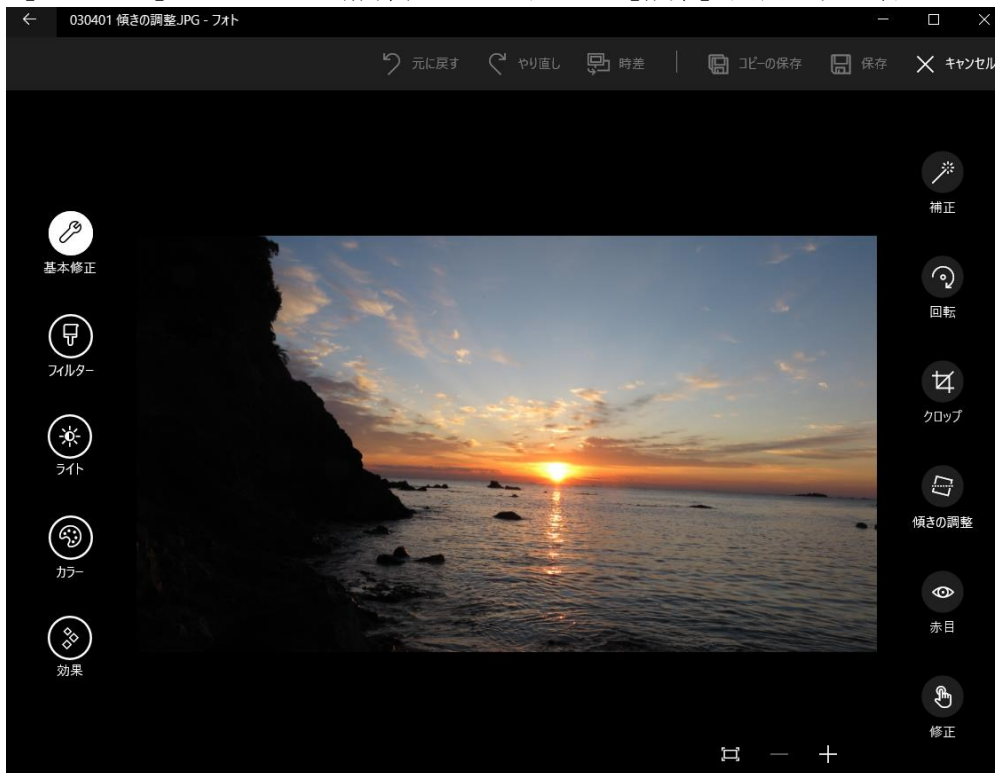




(4) 傾きの調整




写真を撮る時にカメラがわずかに傾き、写真が水平線に対して若干傾いて不自然になることがある。こうした写真の傾きを修正する機能である。

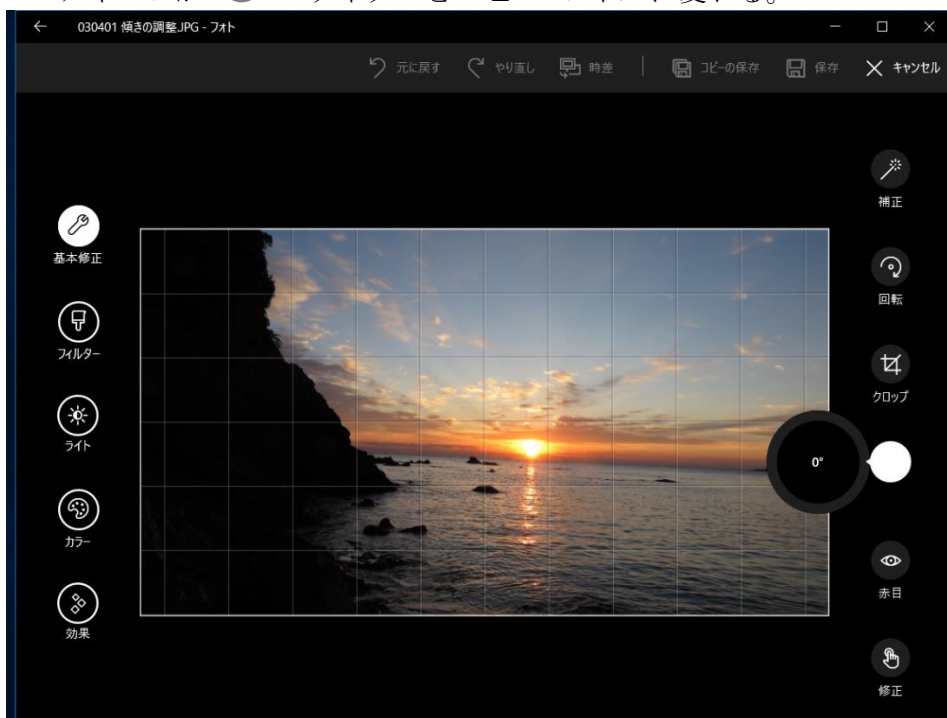
【サンプル写真】 310401 傾きの調整



- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「310401 傾きの調整.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える

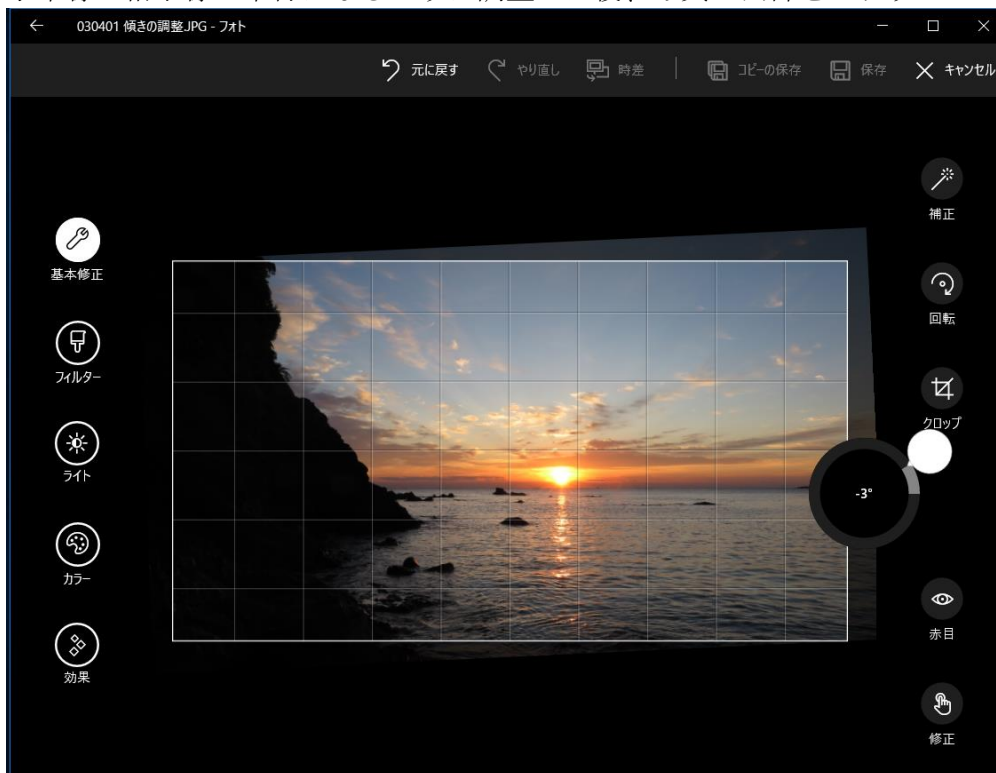



- ③ 画面左の  (基本修正) → 画面右の、 (傾きの調整) の順にクリックして写真上に水平垂直の比較のための格子線を表示すると共に、

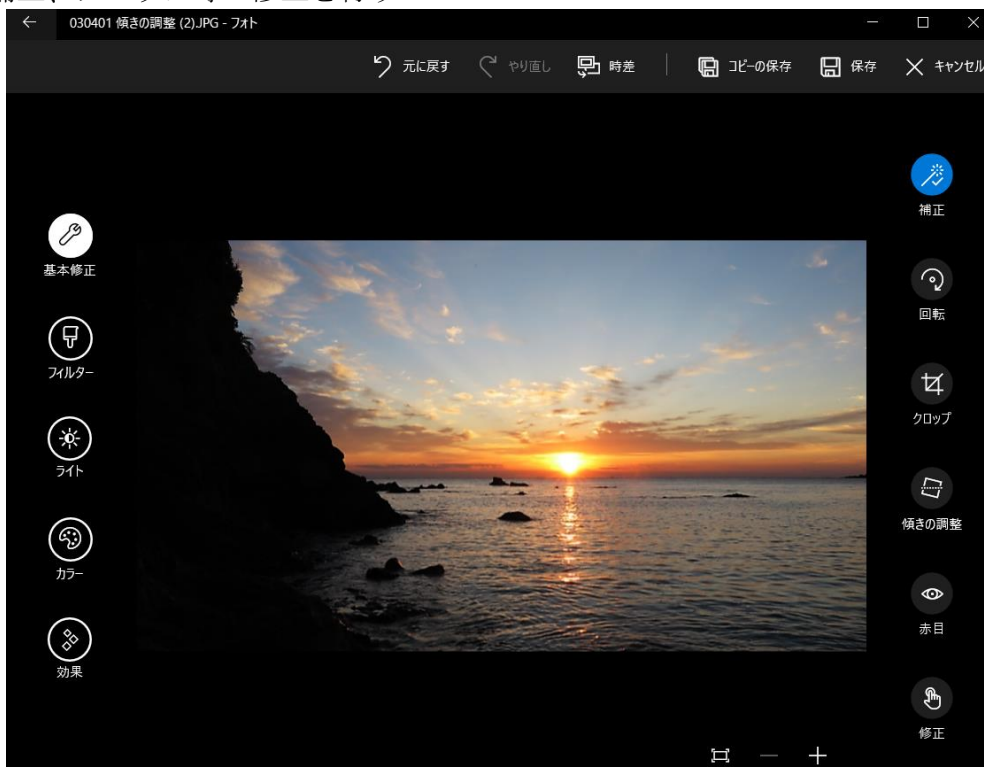
 アイコンが  スライダーと  ハンドルに変わる。



- ④  ハンドルを  スライダーに沿わせてドラッグ（例：左に -3° 回転）させて、写真の水平線が格子線と平行になるように調整した後、写真の内部をクリックして調整を実行する




- ⑤  コピーの保存 をクリックし修正後の写真をコピー（例：030401 傾きの調整(2).JPG）として保存する
更に必要に応じて、コピーとして保存した写真例：030401 傾きの調整(2).JPG）を開いた後、補正、クロップ等の修正を行う

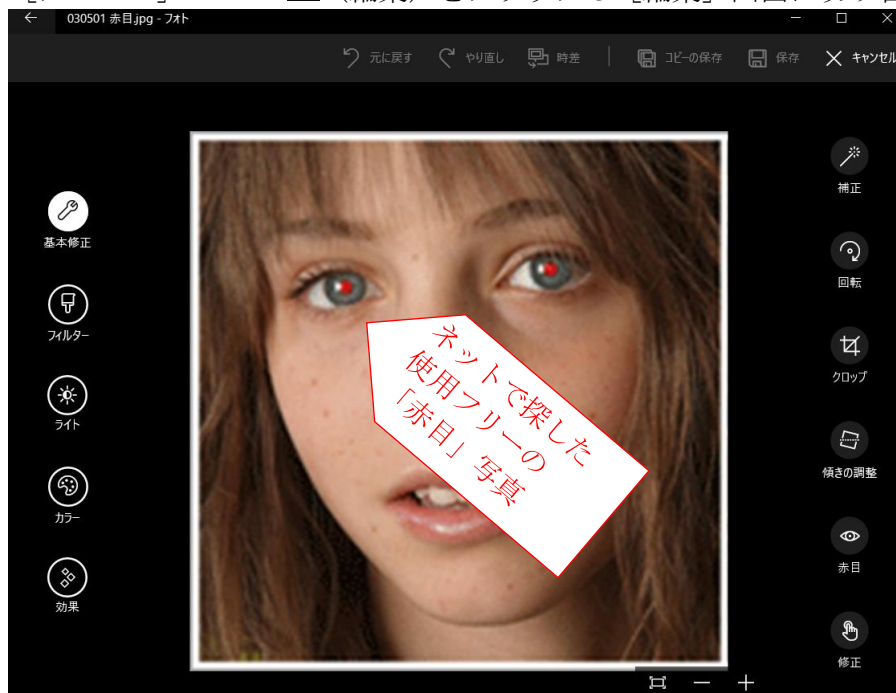






(5) 赤目

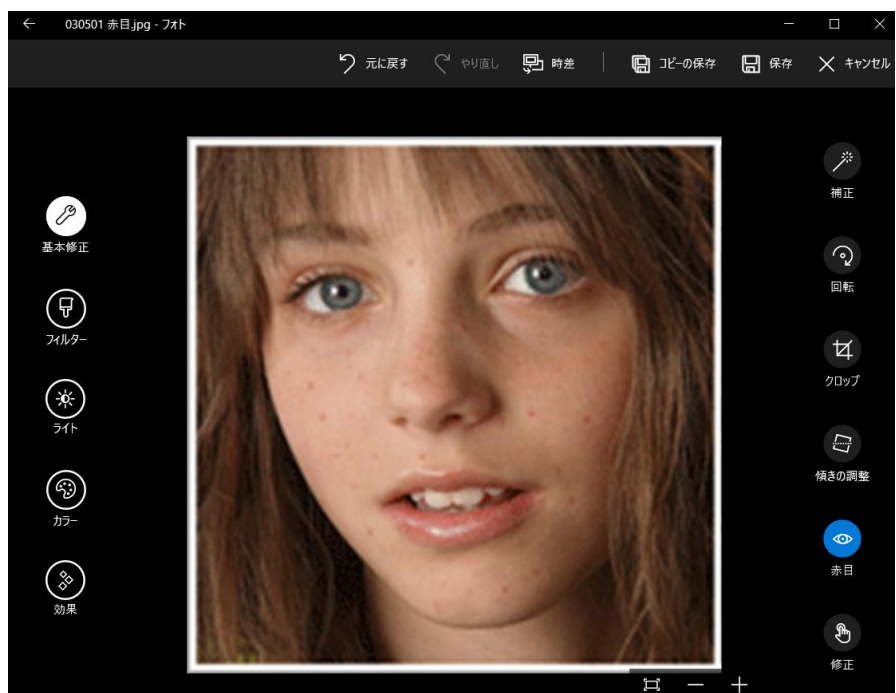
ストロボ（フラッシュライト）を焚いて人物を撮ると瞳孔が瞬間的に開くので、奥にある網膜が赤く写る「赤目」と呼ばれる現象がある。この「赤目」は簡単に普通の色の目に修整することができる。

【サンプル写真】 310501 赤目

- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「310501 赤目.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える




- ③ 画面左の  (基本修正) → 画面右の  (赤目) の順にクリックした後、
マウスポインタを写真の内部に移動するとポインタが  に変わる。
 ポインタで赤い瞳孔の中央をクリックして赤目を黒目に変える

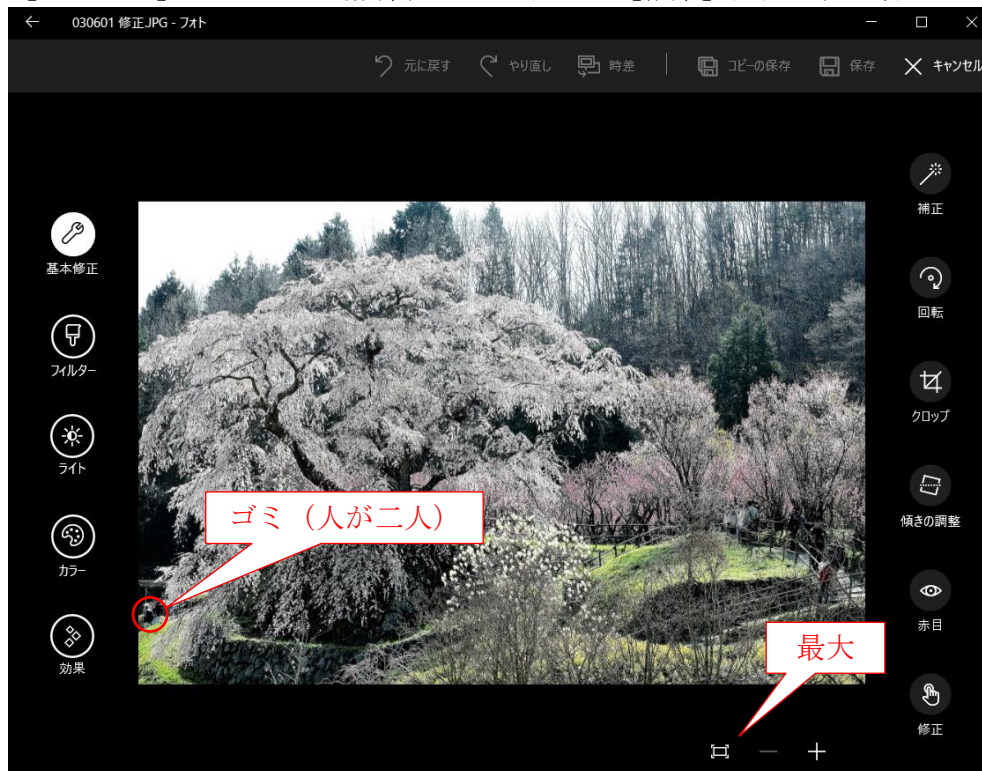







(6) 修正

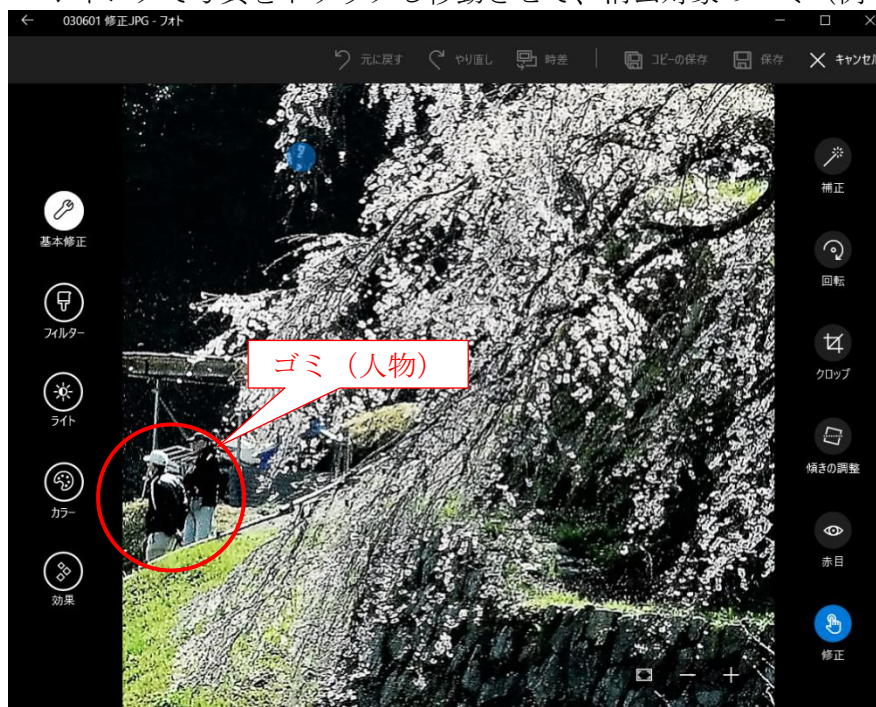
「フォト」では写真の一部にゴミ（不本意な小さい物）が写っていることがある。そのゴミを目立たなくする編集を「修正」と呼んでいる。

【サンプル写真】 310601 修正

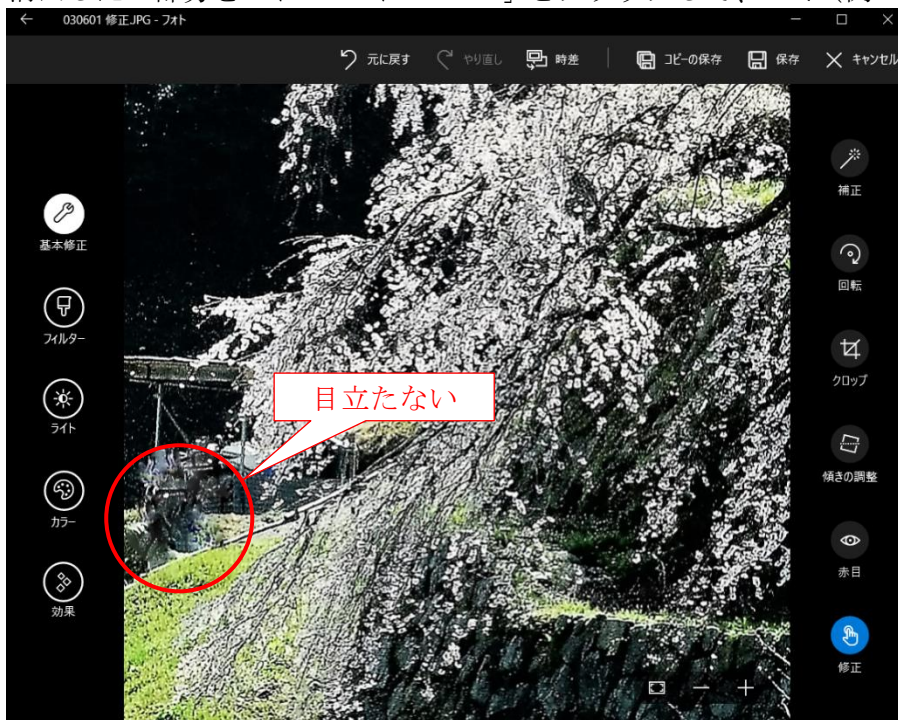
- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「310601 修正.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える



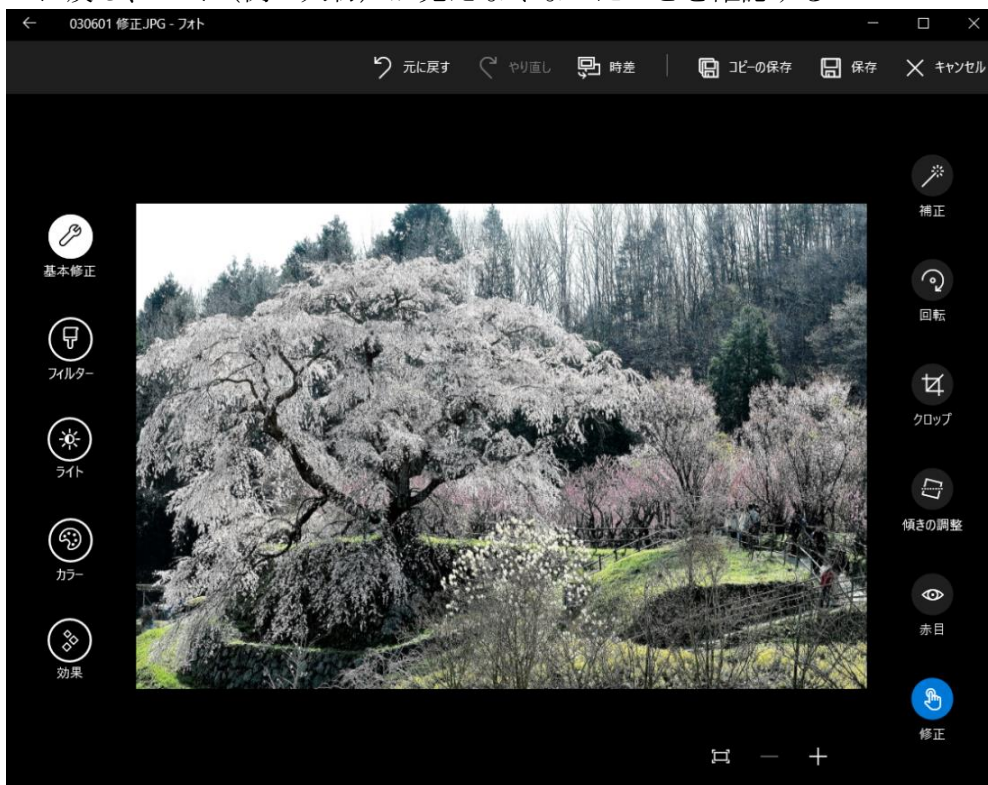
- ③ 画面左の  (基本修正) → 画面右の  (修正) をクリックした後、
マウスポインタを写真の内部に移動するとポインタが  に変わる。
- ④ 画面下の  (最大ズーム) をクリックして最大サイズに拡大表示にした後、
 ポインタで写真をドラッグし移動させて、消去対象のゴミ（例：人物）を表示する。



- ⑤ 消去したい部分を「トン！ トン！ …」とクリックして、ゴミ（例：人物）を目立たなくする



- ⑥ ゴミ（例：人物）が目立たなくなった後、（最大ズーム）をクリックして写真を元のサイズに戻し、ゴミ（例：人物）が見えなくなったことを確認する




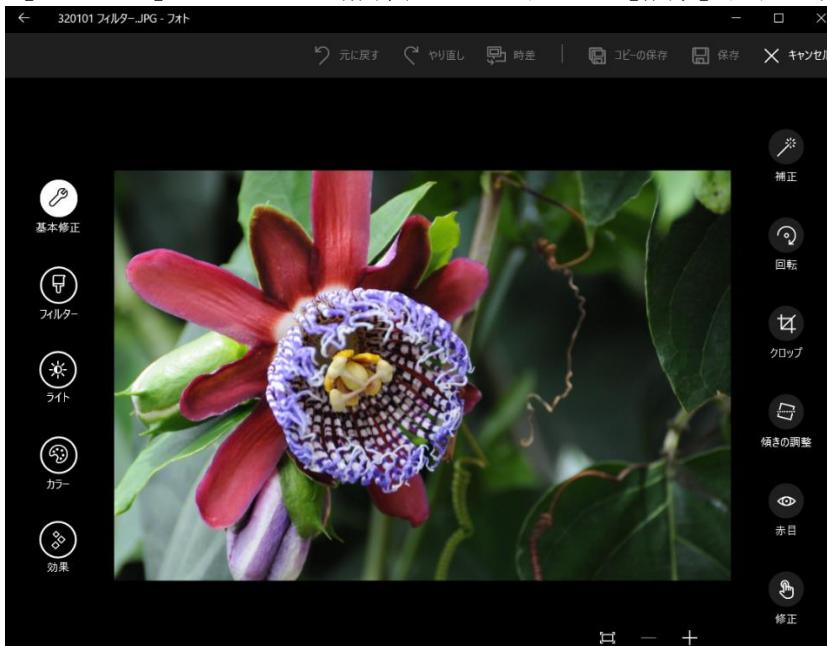
3.2. フィルター

「フィルター」には、普通に撮った写真をソフト的に加工（色調の変更、疑似フォーカス、モノクロ化）して好みの写真に仕上げる機能がある。これは一眼レフカメラにフィルターを付けて撮った写真を模した疑似的な加工である。

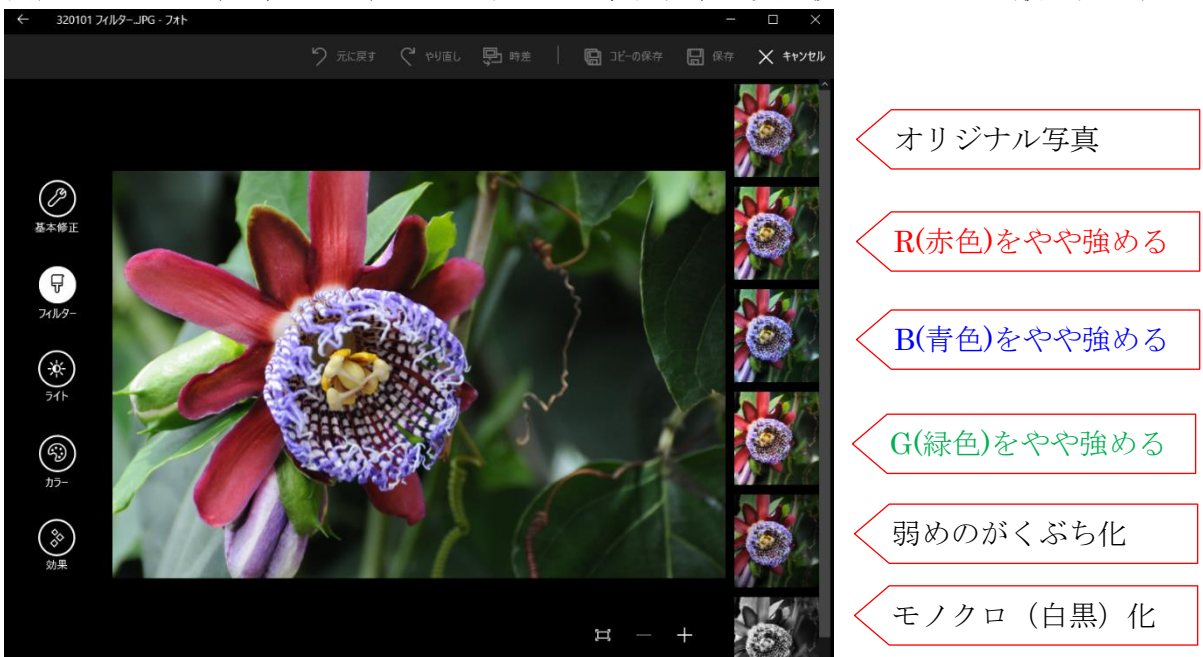
（補足）レンズ交換式カメラ（一眼レフ、ミラーレス一眼）では撮影テクニックの一つとして、レンズの前にフィルターを付けて、反射光の抑制（PL）、光の減少（ND）、画質のソフト化等の制御を行っている。しかし殆どのコンデジ（コンパクトデジタルカメラ）はフィルターを装着できない。

【サンプル写真】 320101 フィルター

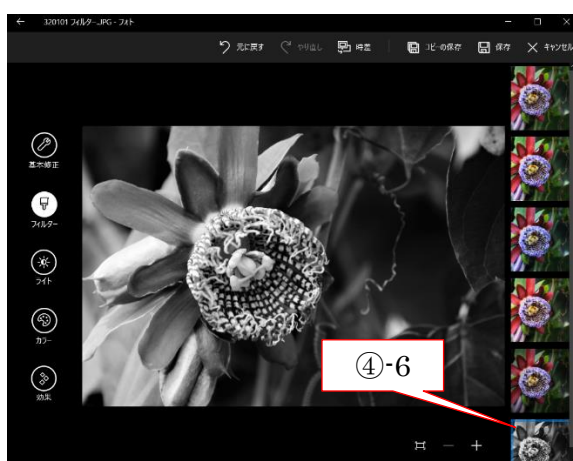
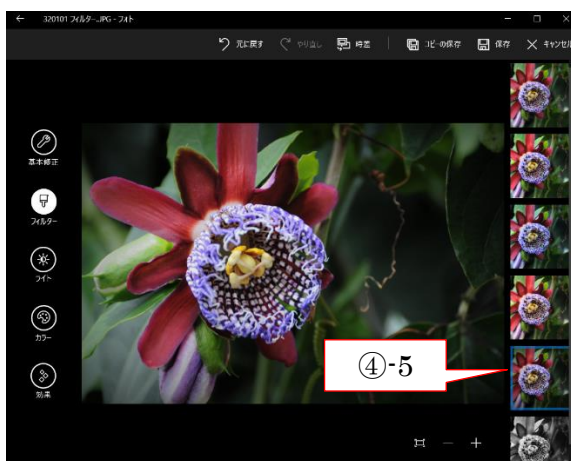
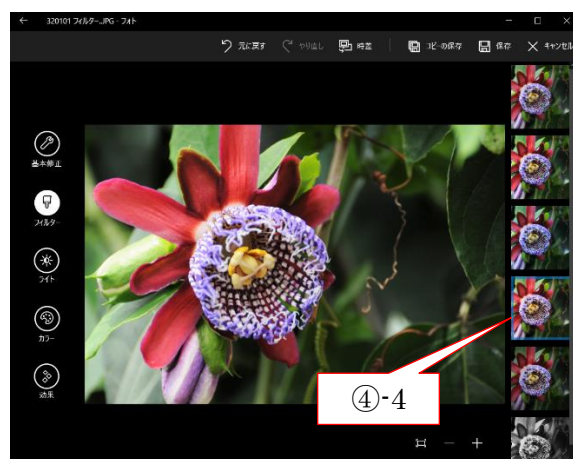
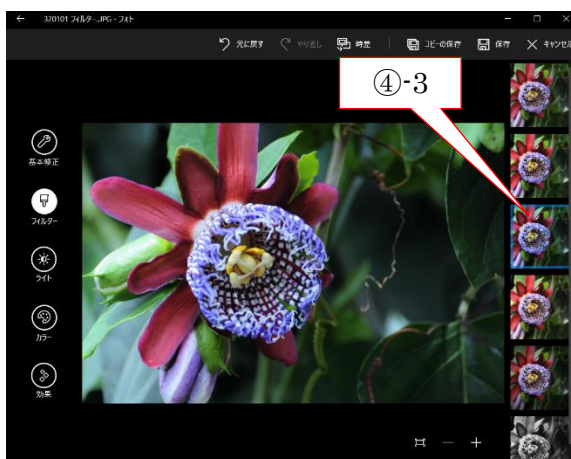
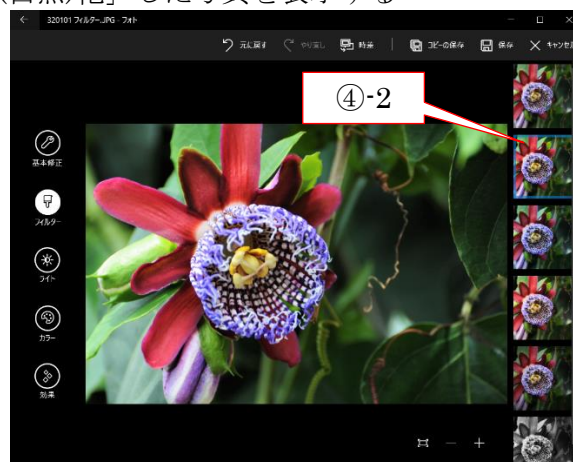
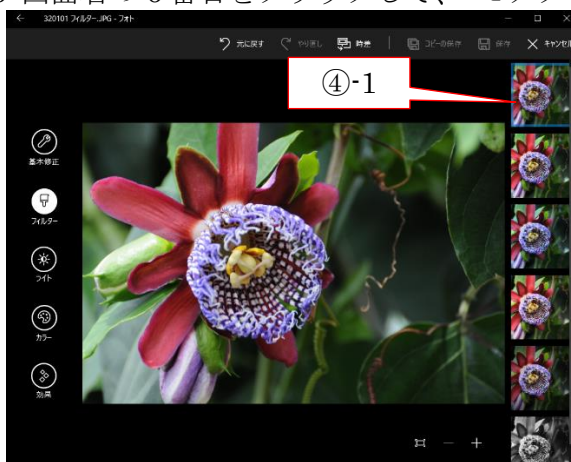
- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「320101 フィルター.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの （編集）をクリックし [編集] 画面に切り替える





- ③ 画面左の （フィルター）をクリックして、画面右に変更後のプレビュー版を表示する



- ④-1 画面右の1番目は「オリジナル写真」である
- ④-2 画面右の2番目をクリックして、「R(赤)がやや強め」の写真を表示する
- ④-3 画面右の3番目をクリックして、「B(青)がやや強め」の写真を表示する
- ④-4 画面右の4番目をクリックして、「G(緑)がやや強め」の写真を表示する
- ④-5 画面右の5番目をクリックして、「弱めのがくぶち化」した写真を表示する
- ④-6 画面右の6番目をクリックして、「モノクロ(白黒)化」した写真を表示する



(参考) 「オリジナル画像」と変更後の写真とオリジナル写真の比較方法

- i) 画面上の  時差 ボタンを押している間はオリジナル写真を表示する
- ii)  時差 ボタンを押さないでいる間は変更後の写真を表示する

3.3. ライト

「フォト」では、写真の明るさに関する修正を「ライト」と呼んでいる。


「ライト」では、① 明るさ、② コントラスト、③ ハイライト、④ 影の修正を個別あるいは組み合わせで行うことができる。

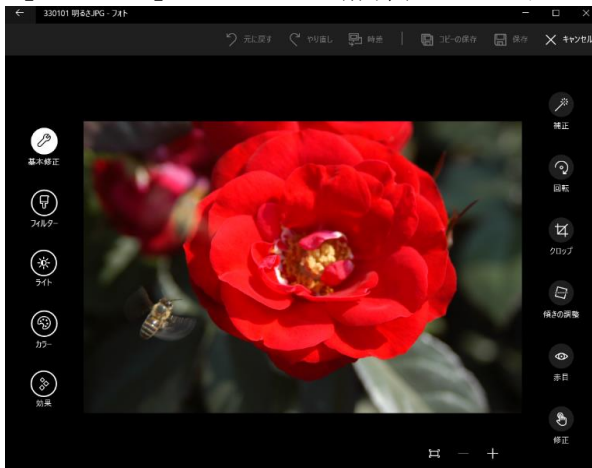
ここでは、4種類の修正の違いが比較できるように同一の写真を使用している。また修正効果が確認しやすいように、それぞれ最大の調整（100）と最小の調整（-100）を試してみた。






(1) 明るさ



「フォト」では写真全体の光量（明るさ）を修正する機能を「明るさ」と呼んでいる。暗過ぎる写真（露出アンダー、黒つぶれ）～明る過ぎる写真（露出オーバー、白飛び）の間で、最適に感じる明るさに修正する。

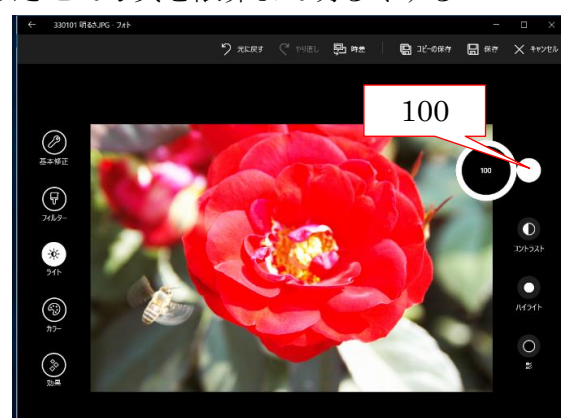
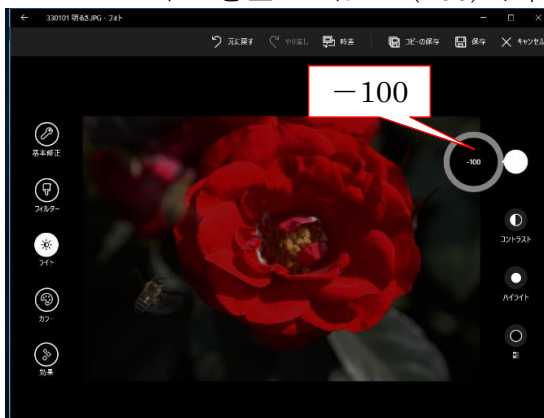
【サンプル写真】 330101 フィルター

- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「330101 フィルター.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの （編集）をクリックし [編集] 画面に切り替える



- ③ 画面左の （ライト）→ 画面右の （明るさ）の順にクリックすると （明るさ）が  スライダーと  にハンドルが変わる。









- ④-1  ハンドルを左いっぱい（-100）に回転させて写真を限界まで暗くする
- ④-2  ハンドルを右いっぱい（100）に回転させて写真を限界まで明るくする

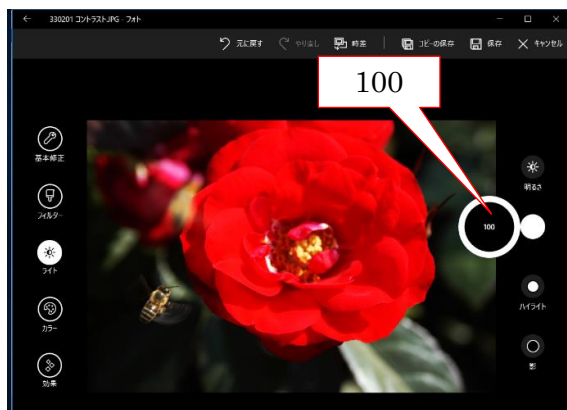
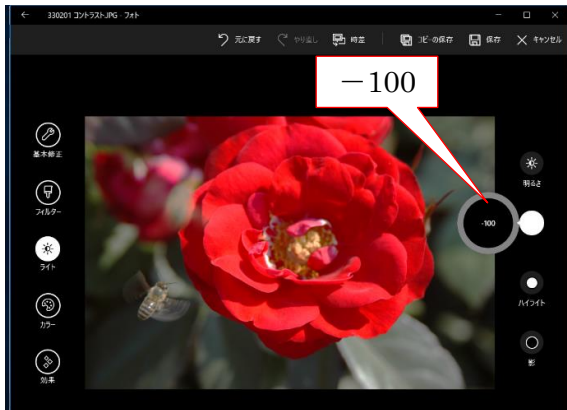


(2) コントラスト

「フォト」では写真の明るい部分と暗い部分の明暗差を修正する機能を「コントラスト」と呼んでいる。「コントラスト」では明るい部分の明るさと暗い部分の暗さを同時に変えて、最適な明暗の差の写真に修正する。

【サンプル写真】 330201 コントラスト









- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「330201 コントラスト.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える
《 前項と同じ写真のため省略する 》
- ③ 画面左の  (ライト) → 画面右の  (コントラスト) の順にクリックすると
 (コントラスト) が  スライダーと  ハンドルに変わる
- ④-1  ハンドルを左いっぱい (-100) に回転させて明暗の差を限界まで小さくする
- ④-2  ハンドルを右いっぱい (100) に回転させて明暗の差を限界まで大きくする

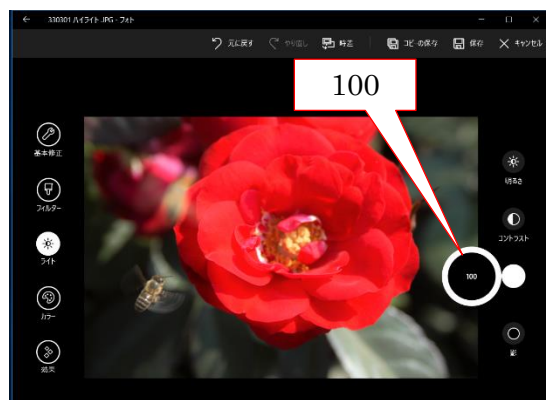
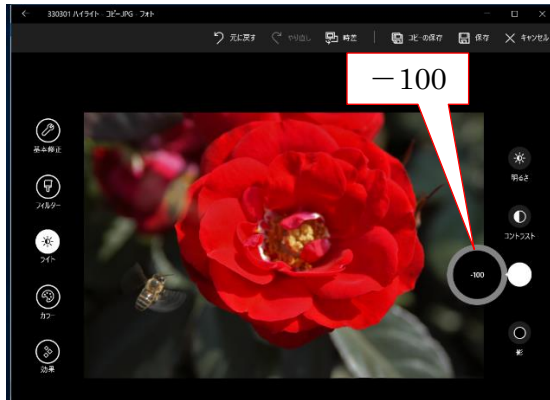


(3) ハイライト

「フォト」では明るい部分の明るさだけを修正する機能を「ハイライト」と呼んでいる。「ハイライト」では暗い部分はほとんど変化させず、明るい部分の明るさだけを修正する。

【サンプル写真】 330301 ハイライト









- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「330301 ハイライト.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える
《 前項と同じ写真のため省略する 》
- ③ 画面左の  (ライト) → 画面右の  (ハイライト) の順にクリックすると
 (ハイライト) が  スライダーと  ハンドルに変わる
- ④-1  ハンドルを左いっぱい (-100) に回転させて明るい部分を限界まで暗くする
- ④-2  ハンドルを右いっぱい (100) に回転させて明るい部分を限界まで明るくする

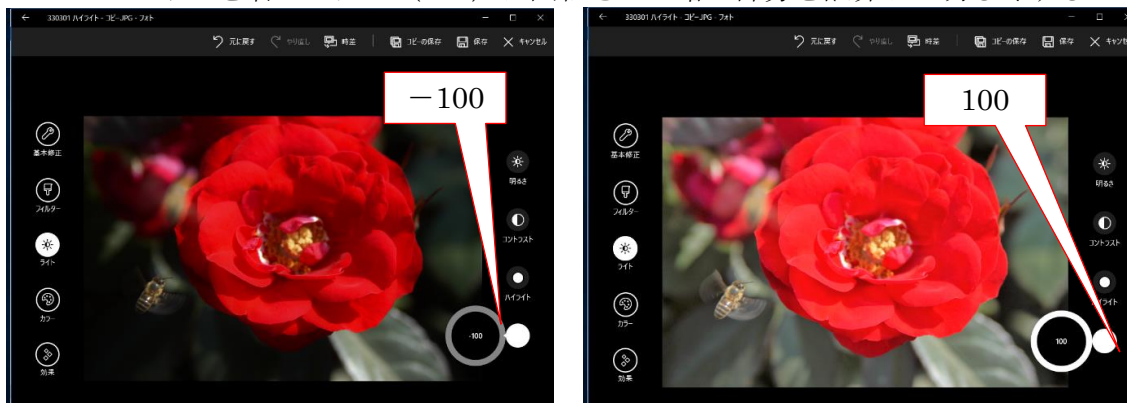


(4) 影

「フォト」では暗い部分の暗さだけを調整する機能を「影」と呼んでいる。「影」では明るい部分はほとんど変化させず、暗い部分の暗さだけを修正する。

【サンプル写真】 330401 影

- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「330401 ハイライト.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える
《 前項と同じ写真のため省略する 》
- ③ 画面左の  (ライト) → 画面右の  (影) の順にクリックすると
 (影) が  スライダーと  ハンドルに変わる
- ④-1  ハンドルを左いっぱい (-100) に回転させて暗い部分を限界まで暗くする
- ④-2  ハンドルを右いっぱい (100) に回転させて暗い部分を限界まで明るくする



3.4. カラー

「フォト」では写真の色に関する修正を「カラー」と呼んでいる。

「カラー」では、**①** 色温度、**②** 濃淡、**③** 鮮やかさ、**④** カラーブーストを個別あるいは組み合わせて行うことができる。


ここでは、4種類の修正の違いが比較できるように同一の写真を使用している。また修正効果が確認しやすいように、それぞれ調整範囲 (-100~100) を3分割した 66.6 間隔 (-100、-34、34、100) で試してみた。

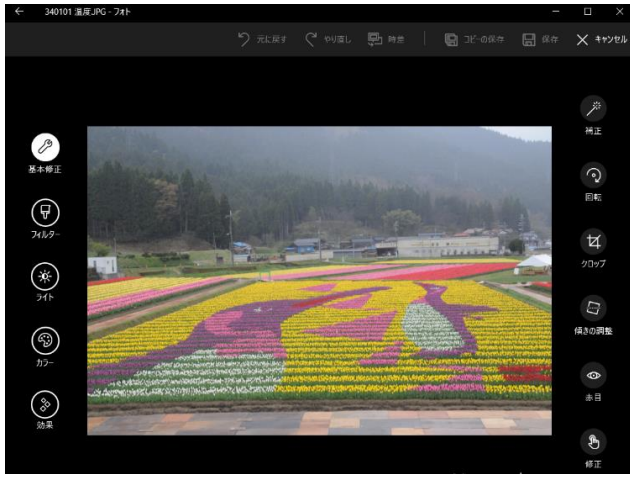
(1) 色温度










「色温度」被写体を照らしている光の色を言い、絶対温度の K (ケルビン) で表す。被写体は光源から届いた光を反射し、カメラは被写体からの反射光を記録している。このため、同じ被写体であっても光源の色 (色温度) により異なった色に写る。

(補足) 色温度は、黒体 (外部からの光を完全に吸収する物質) を加熱したときに出す光の色を、その黒体の絶対温度 (K:ケルビン) で表したものを言う。黒体の温度の上昇に伴って、赤黒→橙色→黄橙→黄→白→青白と変わってゆく。
なお絶対温度 0 度 (0 K) は -273.15°C であり、すべての分子の熱運動がなくなる温度を 0 K として、1 度の温度幅はセ氏 (°C) と同じである。

【サンプル写真】 340101 色温度

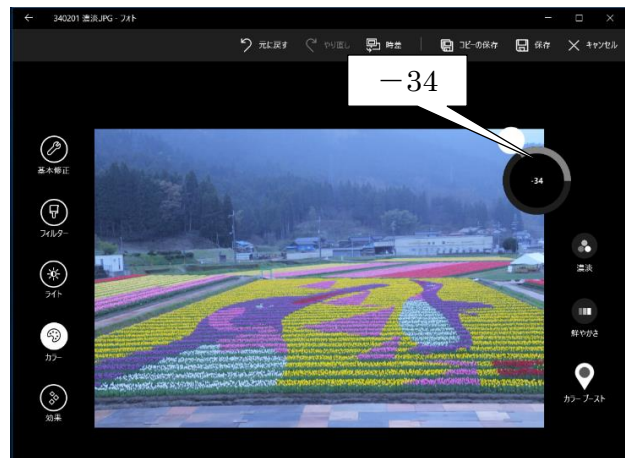
- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「340101 色温度.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える



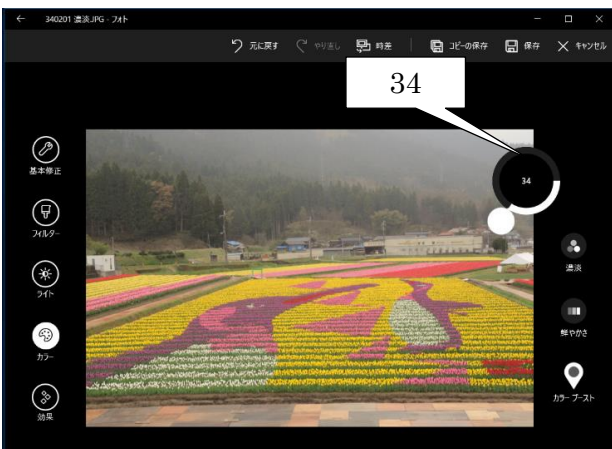
- ③ 画面左の  (カラー) → 画面右の  (色温度) の順にクリックすると  (色温度) が  スライダーと  ハンドルに変わる
- ④-1  ハンドルを左いっぱい (-100) 回転させて色温度を最高にする
- ④-2  ハンドルを左に少し (-34) 回転させて色温度を高めにする
- ④-3  ハンドルを右に少し (34) に回転させて色温度を低めにする
- ④-4  ハンドルを右いっぱい (100) に回転させて色温度を最低にする



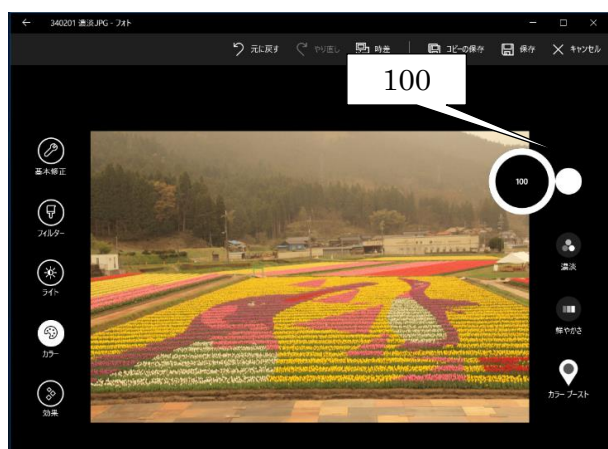
晴天の空 (12,000K 前後)



晴天の日陰 (8,000K 前後)



正午前後 (4,000~5,000K)



電球色、ろうそく (2,000~3,000K)

(参考) 色温度の目安 (EIZO株式会社 <http://www.eizo.co.jp/company/outline/index.html>)


色温度	太陽光	人工の光源	イメージ
1,200K	晴天の空		
8,000K	晴天の日陰		
6,500K	曇り空	蛍光灯 (昼光色)	
5,300K	正午の平均		
5,000K		蛍光灯 (昼白色)	
4,500K	日の出 2 時間後		
4,200K		蛍光灯 (白色)	
3,500K	日の出 1 時間後	蛍光灯 (温白色)	
3,000K		蛍光灯 (電球色)、白熱電球	
2,000K	朝日、夕日	ろうそくの火	

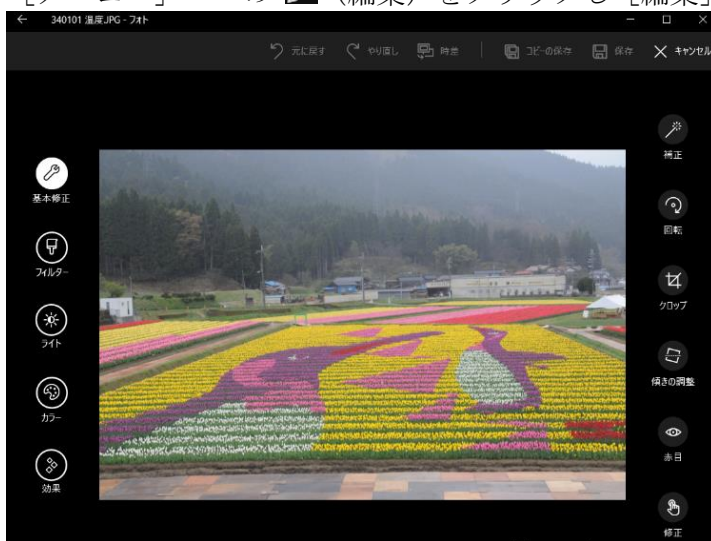
(2) 濃淡










赤色、青色、緑色等の色には濃い色／薄い色がある。この色の濃淡を調整することで写真の見栄えが大きく変わる。

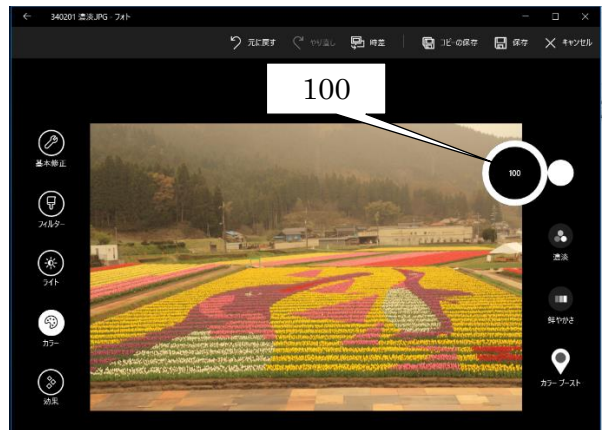
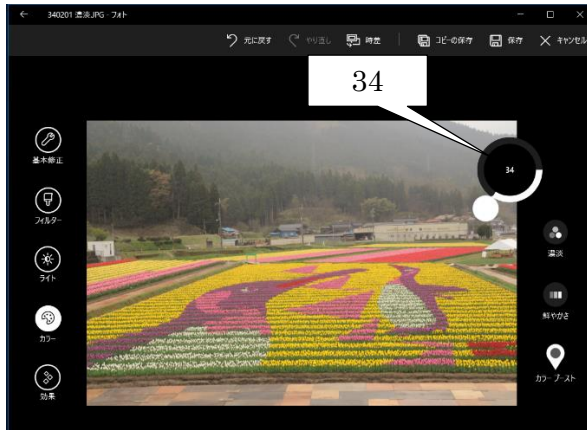
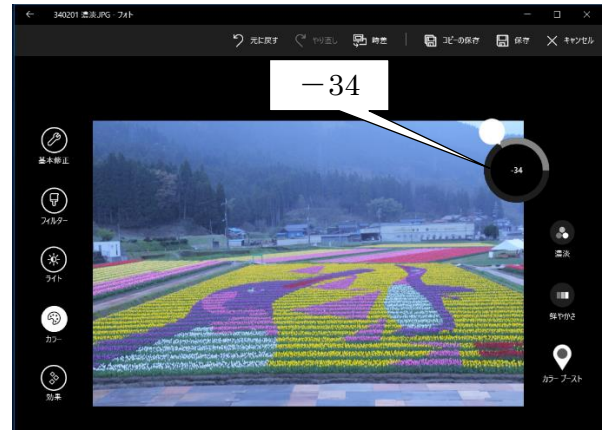
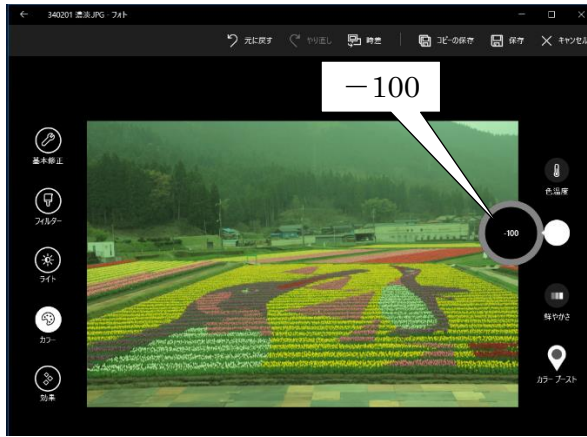
「カラー」の「濃淡」では、色の濃淡を修正して写真の品質を向上させる。

【サンプル写真】 340201 濃淡

- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「340201 濃淡.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える



- ③ 画面左の  (カラー) → 画面右の  (濃淡) の順にクリックすると  (濃淡) が  スライダーと  ハンドルに変わる
- ④-1  ハンドルを左いっぱい (-100) 回転させて色を最も薄くする
- ④-2  ハンドルを左に少し (-34) 回転させて色を薄めにする
- ④-3  ハンドルを右に少し (34) に回転させて色を濃めにする
- ④-4  ハンドルを右いっぱい (100) に回転させて色を最も濃くする




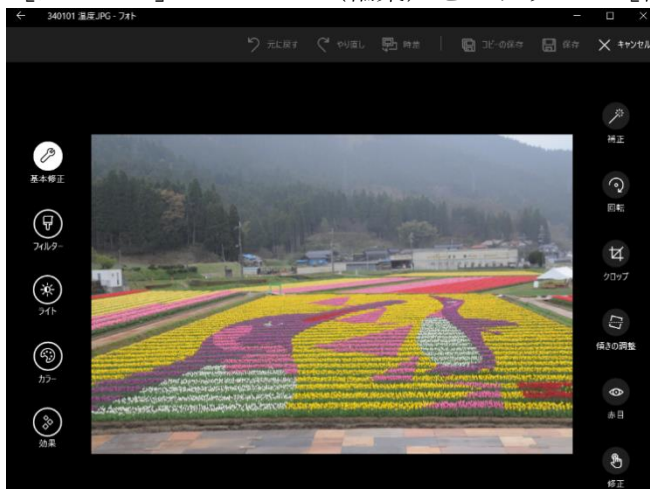
(3) 鮮やかさ






色の鮮やかさ（彩度）は、色に含まれる灰色成分の多い／少ないで決まる。灰色成分が多いとモノクロ（白黒）写真のようになり、灰色成分が少ないとビビット（原色のような感じ）な写真になる。





「フォト」の「鮮やかさ」では灰色成分を増減して鮮やかさを修正する。

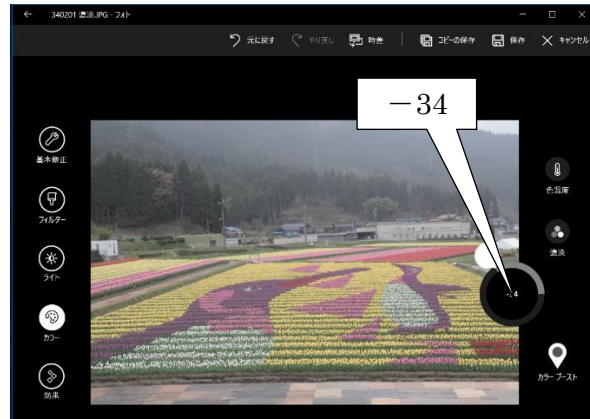
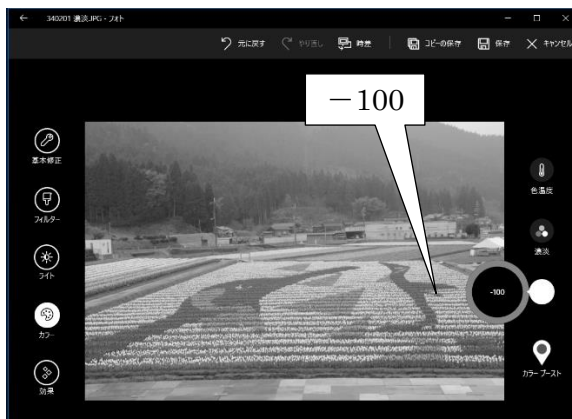
【サンプル写真】 340301 鮮やかさ

- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「340301 鮮やかさ.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの （編集）をクリックし [編集] 画面に切り替える



- ③ 画面左の （カラー）→ 画面右の （鮮やかさ）の順にクリックすると （鮮やかさ）が  スライダーと  ハンドルに変わる


- ④-1  ハンドルを左いっぱい (-100) 回転させて灰色成分を最も多くする
- ④-2  ハンドルを左に少し (-34) 回転させて灰色成分を多めにする
- ④-3  ハンドルを右に少し (34) に回転させて灰色成分を少なめにする
- ④-4  ハンドルを右いっぱい (100) に回転させて灰色成分を最も少なくする

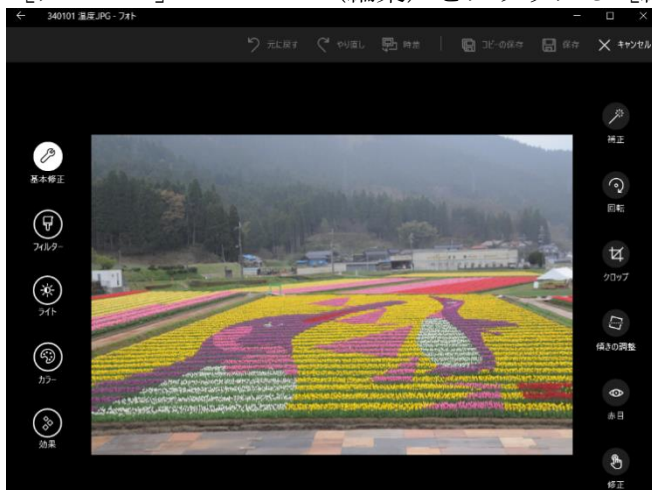


(4) カラーブースト

「フォト」の「カラーブースト」は写真の中の特定の色を指定した後、指定した色を増減することで写真の雰囲気を変える機能である。

【サンプル写真】 340401 カラーブースト

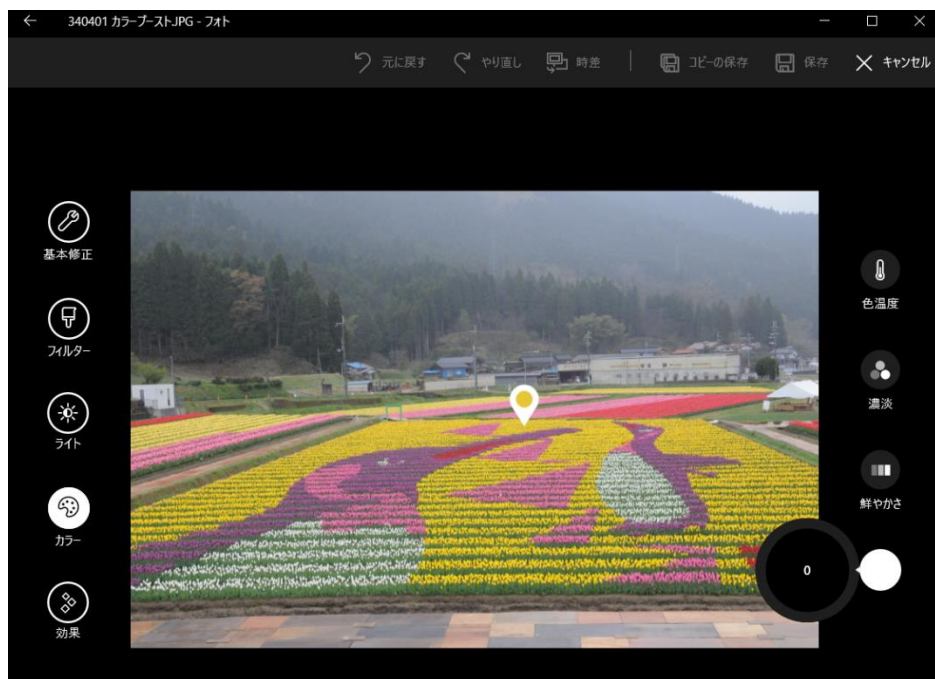
- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「340401 カラーブースト.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える







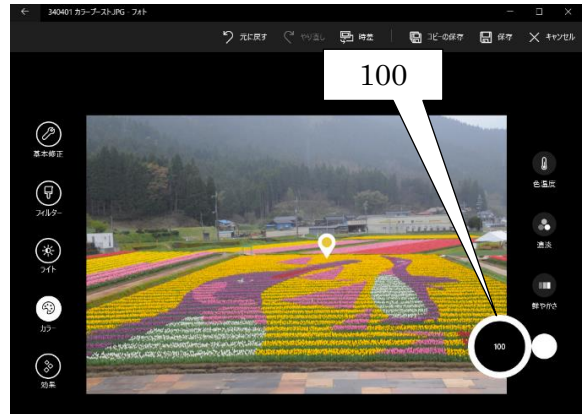
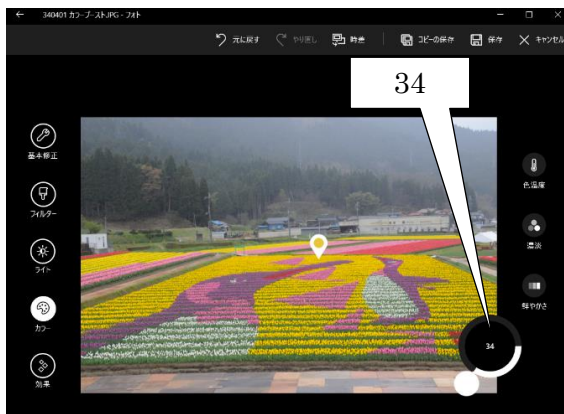
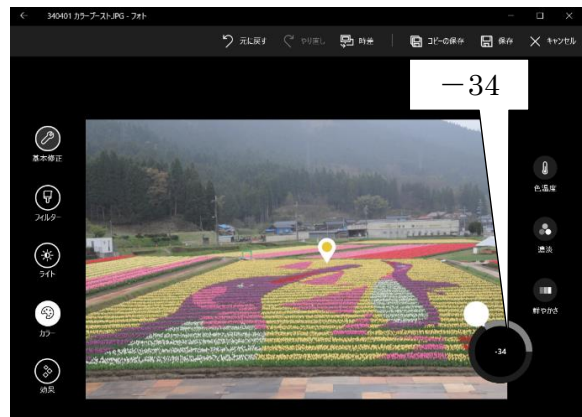
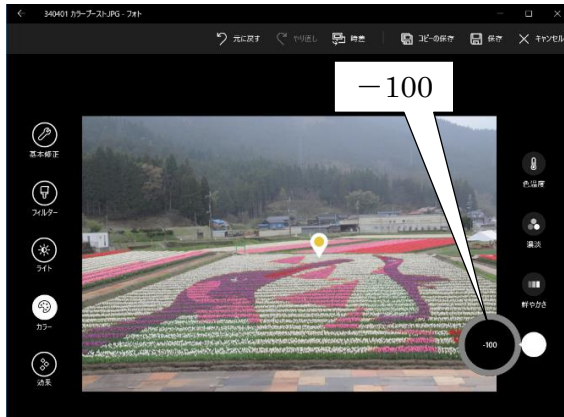
- ③ 画面左の  (カラー) をクリックした後、指定する色がある位置まで  (カラーブースト) ドラッグすると、 アイコンが指定した色 (例: ) になる。



- ④ マウスの左ボタンを放すと、 スライダーと  ハンドルを表示する



- ⑤-1  ハンドルを左いっぱい (-100) に回転させて灰色成分を最も多くする
 ⑤-2  ハンドルを左に少し (-34) に回転させて灰色成分を多めにする
 ⑤-3  ハンドルを右に少し (34) に回転させて灰色成分を少なめにする
 ⑤-4  ハンドルを右いっぱい (100) に回転させて灰色成分を最も少なくする



3.5. 効果


「フォト」の「効果」には、「ふちどり」と「フォーカス」がある。

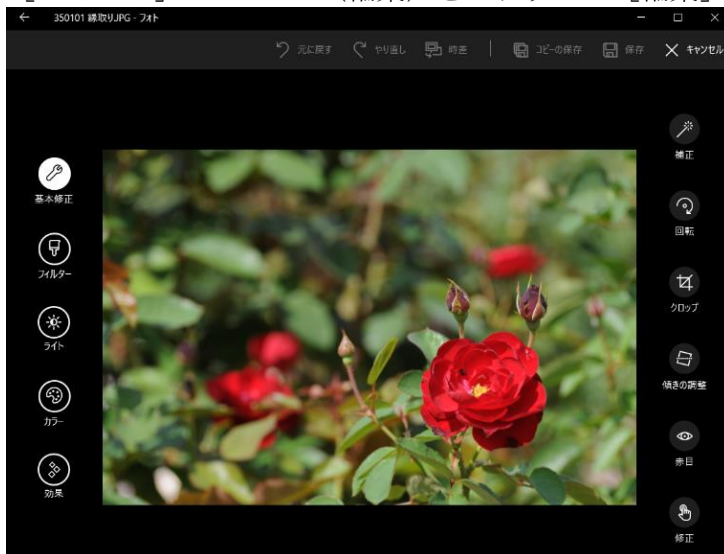
(1) ふちどり






「フォト」の「縁取り」機能は、写真の周辺（四隅）を白くしたり、暗くしたりしてぼかす加工を言う。


(補足) 「フォト」には「ふちどり」と類似した「3.2 フィルター」の5番目のプレビュー版で指定する「弱めのふちどり」のフィルター機能があるが、これには白/黒の指定やぼかし強度指定の機能がなくソフト任せの全自動である。


【サンプル写真】 350101 ふちどり


- ① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]
→ 「350101 ふちどり.jpg」の順にクリックして写真を表示
- ② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える




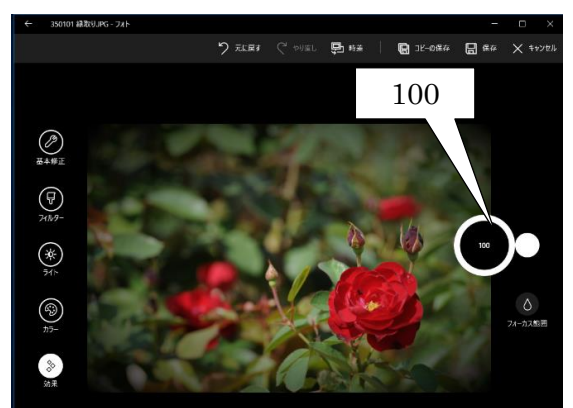
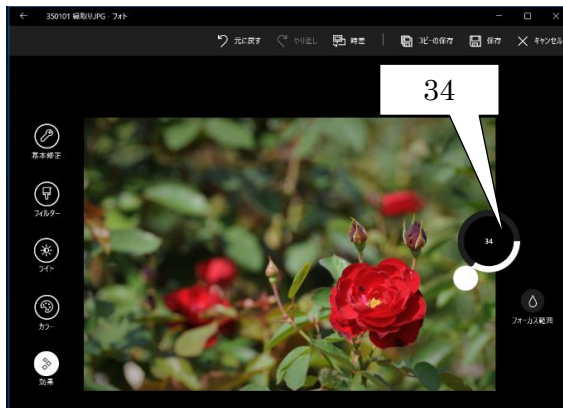
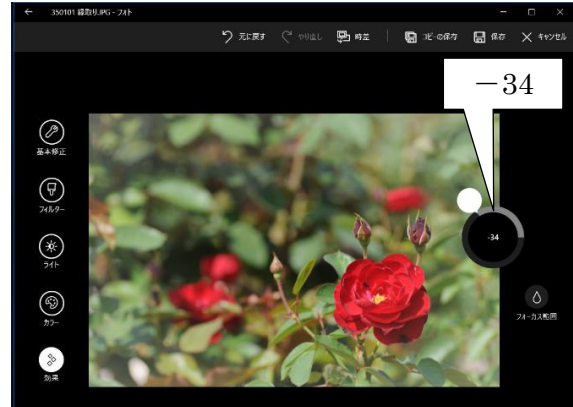
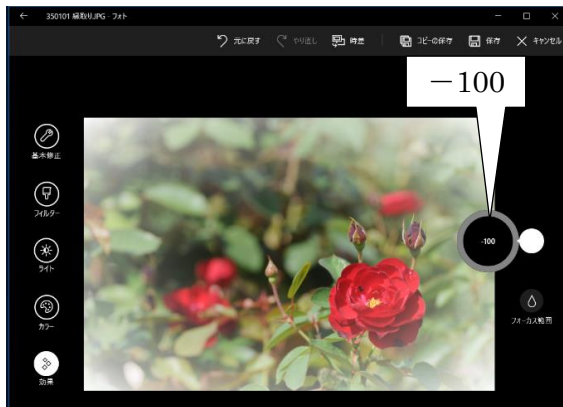
③ 画面左の  (効果) → 画面右の  (ふちどり) の順にクリックすると  (ふちどり) が  スライダーと  ハンドルに変わる

④-1  ハンドルを左いっぱい (-100) 回転させて四隅に濃い白ぼかしをする

④-2  ハンドルを左に少し (-34) 回転させて四隅に薄い白ぼかしをする

④-3  ハンドルを右に少し (34) 回転させて四隅に薄い黒ぼかしをする

④-4  ハンドルを右いっぱい (100) に回転させて四隅に濃い黒ぼかしをする




(2) フォーカス範囲

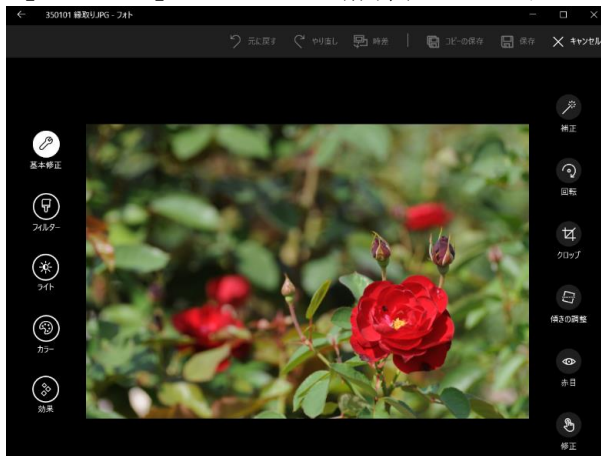
「フォト」の「フォーカス範囲」機能は、範囲選択した目的部分を ピントが合ったようにはっきりと表示し、その他の周辺部分を ピントが合わないようにはぼかして表示する 疑似的な修正を言う。



【サンプル写真】 350201 フォーカス範囲

① [フォルダー] → [160925 フォト編集用サンプル写真]

→ 「350201 フォーカス範囲.jpg」の順にクリックして写真を表示

② [メニュー] バーの  (編集) をクリックし [編集] 画面に切り替える





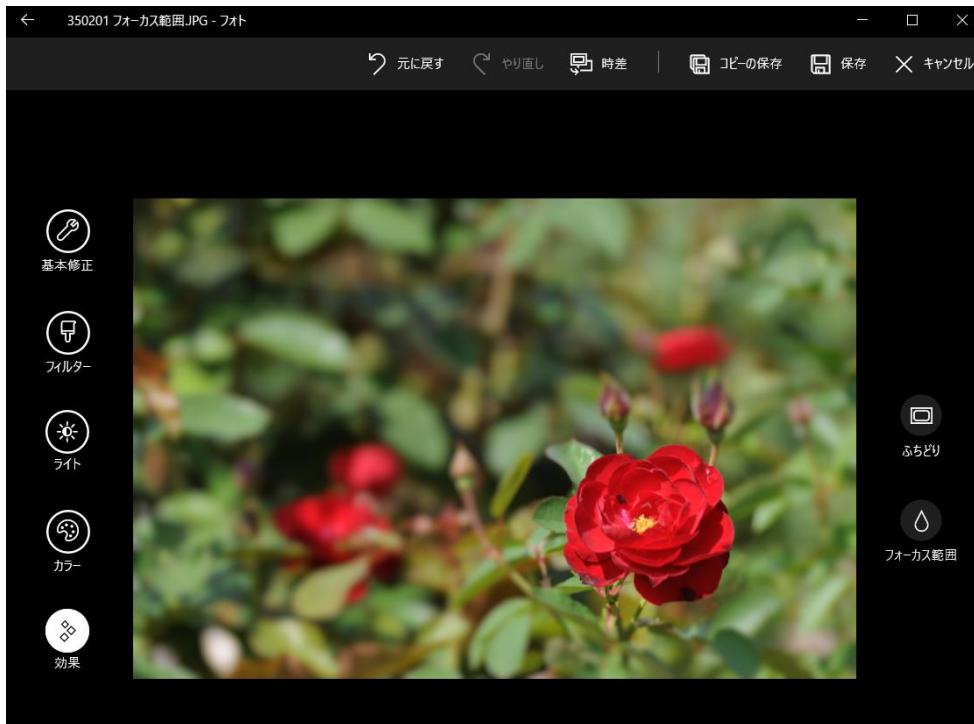
- ① 画面左の  (効果) → 画面右の  (フォーカス範囲) の順にクリックして写真の中央にフォーカス範囲を指定する大きな円を表示する



- ② 円を目的部分の位置までドラッグし移動して、上下左右の ○ハンドルを操作して目的部分全体を囲むように範囲指定する



- ③ メニューバーの  (ぼかし) をクリックし表示したメニューからぼかしの強度 (例：最も強い) を指定した後、 (適用) をクリックして疑似的なぼかしを実行する



(補足) **時差** を押ししたり離したりして、フォーカス範囲に指定した部分以外の周辺部がピント外れのようにぼけていることを確認する

